



MEIJI UNV. JUDO CLUB
PERIODICALS

明 柔

88,^L

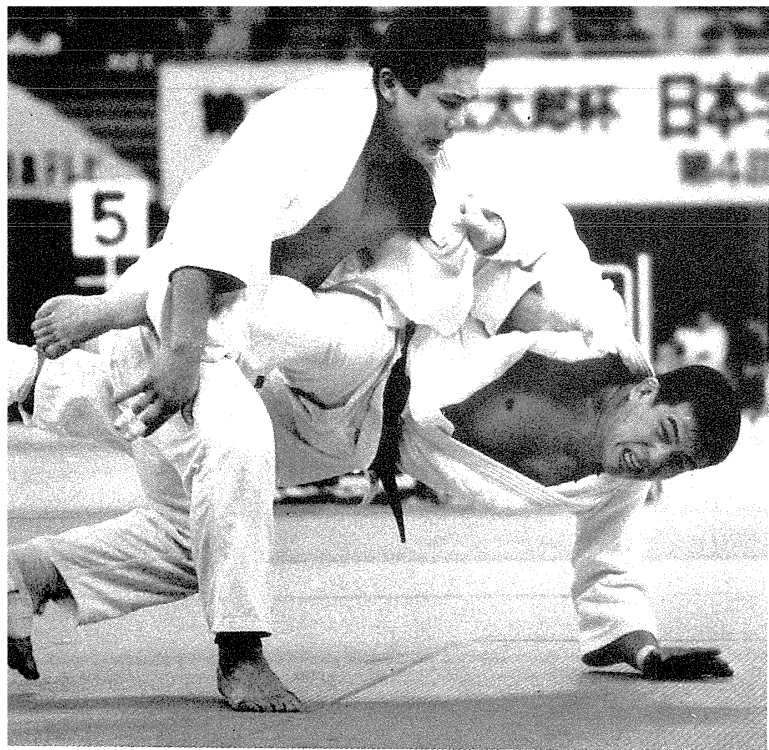
明治大学柔道部明柔会会報

闘争の倫理

日本人はスポーツ即、リクリエーションと思っている様だが、おじさんのゴルフや、楽しむだけのジョギングなどはスポーツではない。現在日本の体育は体力増進にばかり主眼をおき、スポーツの原点である「闘争心」を失わせてしまった。生死のギリギリのところ、またパニックの時に自らをコントロールして行動する力は、現代の我々にとってスポーツでしか養い得ない。

スポーツを通じて「闘争の倫理」を身につければ、いじめの問題など起きない筈だ。ひいては戦をくいとめる事にさえつながるのである。

大西鉄之助

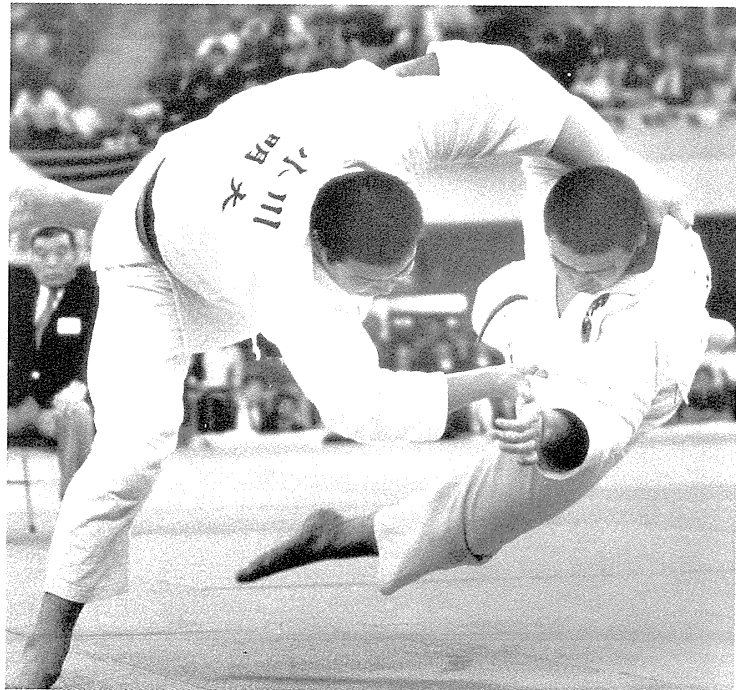


95kg 飛松和雄（三年政経）

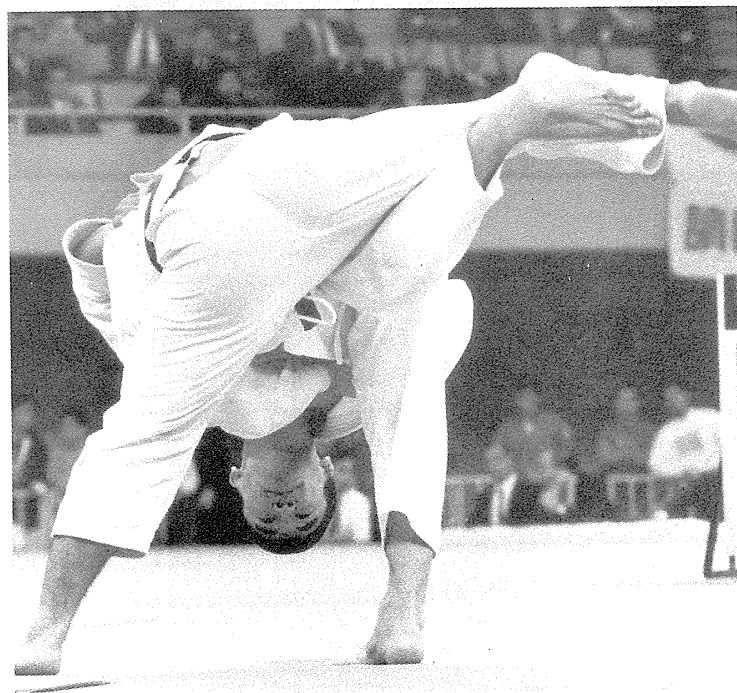
全日本学生体重別大会

二年連続、明治 三階級を制す

写真提供：読売新聞社

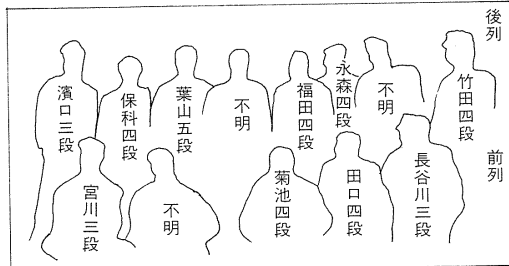


95kg超 小川直也（三年経営）



78kg 吉田秀彦（経営一年）

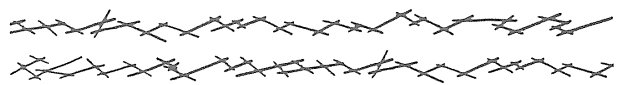
思い出の一枚



昭和八年八月 満洲旅順 白玉山にて
明治大学柔道部

明柔（明治大学柔道部明柔会会報） 目次

巻頭言	部長 百瀬 恵夫	1
昨年に続き明治二階級を制す		2
小川二度目の王座に		6
正力杯観戦記	橋本 一郎	10
日本学生柔道体重別大会を観戦して	河田 恵吾	11
ソウル五輪柔道	師範 姿 節雄	12
所感 最近の柔道	渡辺 政雄	13
五輪柔道を見て（上村君へ）	村田恒太郎	16
強敵サンボ		19
納会・忘年会・祝勝会・激励会		21
定例幹事会		22
静岡明柔会		23
随筆と近況		
曾根康治君の墓参をして	伊澤 潔	24
近況報告と少々の老婆心	佐久間 豪	25
姿師範来仙	熊谷 雅之	27



サラリーマンと転勤	金谷 洋志	29
近況報告	神山 浩之	30
マネージャーだより	南四 小林 誉	31
「たより」海外から		33
原助監督結婚		34
想い出の一枚		35
道場往来		39
われら同期生(1)	五島 光	41
明柔よもやま話		45
健康レポート 糖尿病の運動療法		47
明柔人国記		53
私の身上書	高田誠之助	58
明大の技(2)		60
第三十六回明柔会ゴルフ大会	野坂 良雄	62
鈴木愛忠先輩を偲んで		64
事務所会費納入表		65
住所変更と訃報	上村 春樹	68
得意技の解説		71
編集後記		71



巻頭言

オリンピックに思う

部長 百瀬 恵 夫

今回のソウルオリンピックは、さまざまな問題を提起した。以下私の感じたところを述べてみよう。まず、全体的な問題としては、各競技場を埋めた観衆のマナーの問題である。ボクシングのリング内乱入事件に代表されるように、とてもアマチュアの祭典のべきこととは思えない事態をいくつもひき起こした。自国の選手が出場する競技に対する国民感情がわからないわけではないが、アマチュアスポーツの応援には一定の限度をわきまえるのが主催国としての最低限のマナーというものであろう。今後のオリンピック開催国の選定は、単に競技施設というハードの側面だけではなく、アマチュアスポーツの主催国にふさわしいソフトの面も重視してほしいものである。

次に、オリンピックに出場するに当たっては、金メダルを何個とる、といった考えをムキ出しにしないでほしいということである。ソ連をはじめとする国家が管理するステートアマの国や金メダルをとると一千万円とか将来の生活が保証される(年金)とかいった国が出てきている状況下で、わが国の体協の組織や運営のあり方ではとてもムリというものである。柔道は、日本がルーツであり指導的役割を果たしてきたからといって、金メダルを取らなければならない理由はない。負け惜みではないが、他国のレベルが上がっていることをむしろ喜べるような国民であってほしい。ただ、日本が柔道の開業国として今後考えるべきことは、武道からスポーツ化した中で、ルールをもっと明確化することに力を入れるべきであらう。審判の主観が入りにくいルール化が必要であり、公明正大なスポーツとして一層強固にするための基礎を再構築することが重要であると思われる。



最後に、ソウルオリンピックの反省とわが国の今後の方向については、IOCの清川委員の体協の組織運営の改革や財政基盤の確立についての提言に私は基本的に賛成である。オリンピックは、出場することそれ自体に意義ありとする精神を重視するのか、金メダルの数を重視するのか、いや両方であるとするのかの論議は別として、アマチュアスポーツの祭典という原点を忘れたオリンピックこそ問題であるといわなければならないであらう。

昨年に続き 明治三階級を制す

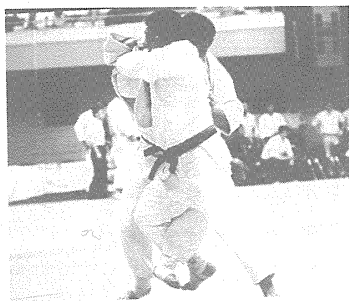
全日本学生体重別

正力杯第七回全日本学生体重別選手権大会は九月八日、九日の両日、日本武道館で開催され明治は昨年に続き三階級に優勝した。

初日七十八キロ級に出場した一年生吉田秀彦は決勝戦時間切れ寸前、内股、有効から寝技に入って近大船渡選手に逆転勝ちし一年生チャンピオンの偉業をなし遂げた。

二目の九十五キロ級を制した飛松和雄(三年)は今年の正力杯国際学生大会で八十六キロ級に出場し二位になっているが今大会は九十五キロ級に体重を上げて成功した。かつぎ技を得意とする飛松は外人相手に有利な事から今後もこのクラスでやっていく事になる。

小川直也(二年)は病がかりで体調不十分のまま大大会にのぞんだが勝ち進むにつれて調子を上げ決勝では関根(東海大)から左内股で技ありを奪って快勝し、連覇。



攻める飛松(95 kg)

も興の学生チャンピオンを決めるのにふさしい盛り上りをみせた実りの多い大会であった。

◇…六十キロ級…◇

▽準決勝

丸山 明 判 今川義則
(筑波大) (大商大)

木下先之 判 村上喜則
(日体大) (日体大)

丸山 明 判 木下先之

◇…六十五キロ級…◇

▽準決勝

太田博吉 判 川合卓司
(日体大) (筑波大)

大熊正彦 判 山部伸敏
(東海大) (鹿屋体大)

大熊正彦 判 山部伸敏
(東海大) (鹿屋体大)

◇…七十一キロ級…◇

▽準決勝

古賀裕彦 判 天本文雄
(日体大) (明大)

徳安秀正 判 酒井英幸
(日体大) (筑波大)

▽決勝

古賀裕彦 背負い投げ 徳安秀正

◇…七十八キロ級…◇

▽準決勝

吉田秀彦 判 小久保純史
(明大) (日体大)

船渡敬夫 判 近藤克幸
(近大) (鹿屋体大)

吉田秀彦 判 船渡敬夫

◇…八十六キロ級…◇

▽準決勝

小林速人 判 早坂勇人
(東海大) (東北学院大)

山本旗六 判 石田輝也
(日大) (明大)

山本旗六 判 小林速人

◇…九十五キロ級…◇

▽準決勝

合郷勝彦 判 児玉篤
(鹿屋体大) (筑波大)

飛松和雄 判 柳英幸
(明大) (国際武大)

予感！未来の大家

『必殺内また』さえた吉田

「大した一年生だ」七十八キロ級決勝で、吉田が終り際、船渡を縦四方固めで押さえ込んだ瞬間、会場のあちこちから驚きをとまなせた歓声が起きた。二分二十秒に、背負い投げで効果を奪われ、得意の内またをうまく封じられた苦しい展開。だが、吉田は、それでも内またをかけた続け、相手の疲れを待った。そして、「初めて引き手がうまく取れた」

という吉田の十数度目の内またが有効となったのは残り十五秒。そのまま寝技に持ち込み、押え込みに入ったのは、終了わずか三秒前だった。

準決勝を除く四試合に一本勝ち。吉田は「風邪気味で、調子はよくなかった」と優勝が信じられないような口ぶりだったが、上村春樹監督は「決まらなくても、(内またを)しつこくかけ続けたのが素晴らしいと、その積極柔道を評価した。

メートル七十八と、このクラスには珍しく長身。強じんな下半身から繰り出す必殺の内またで、昨年の高校総体軽重量級を制し、世田谷学園(東京)の高校選手権三連覇の立役者にもなった。明大進学後も、七月のアジア選手権(シリア)で優勝するなど、順調に成長している。

まだ内また以外に、これといった技がなく、組んだ後、技をかけるのが遅いなど課題は多いが、「将来に何かを感じさせる選手」(上村監督)と期待も大きい。ソウル五輪の疲れで欠場した岡田弘隆(筑波大)との対戦が楽しみだ。

ケガを克服した飛松和雄

九十五キロ級を制した飛松和雄は今春の正力杯国際大会で八十六キロ級二位になっている。彼は入学時、七十八キロ級の選手であった。

柔道選手にケガはつきものだが飛松ほどケガに泣かされている男もめずらしい。右膝と右ヒジを交互に痛め過去三年間、年間通してまともな稽古の出来た年はない。

飛松のすばらしいところは、ヒザを痛めるときは上半身を、ヒジを痛めた時は足を、と決してトレーニングを怠らない事だ。とはいえ、ケガなしの時は稽古の虫である彼にとってケガ中の絶体運動量の不足は何ともしがたい。七十八キロ級が九十五キロ級になった所為である。たび重なるケガにもくさらず、前を向いて明るく精進した結果が今回の優勝につながった。

小川王者の意地不調も克服

九十五キロ超級決勝——。ともに一年生だった一年前の全日本学生で、決勝を争ったライバル対決。それだけに慎重になり過ぎたのだろうか、中盤に双方が二度目の「指導」

をとられたが、残り一分、得意の組み手に入った小川が、すかさず内またで関根を浮かせて「技あり」につなげ、勝負をつけた。昨年十一月の世界選手権で、史上初の十代チャンピオンになって話題を集めた小川。この大会は必ずしもベストの体調ではなかった。

今夏八月、シリアの Damascus で行われたアジア選手権で食中毒にかかり、一時は「三十五キロの体重が二〇キロにまで落ちた。一か月前から練習を再開したばかりで、足取り気味の小さい小川も、腰が十分入らない分、手でカバーする苦肉の策。だが、鋭り合いの中でつんだチャンスを実にポイントにつなげた所に、成長がうかがえた。並みの選手だと、ああいふ場面であの内または出ない。さすがキラツと光るものを持っている」と原吉実助監督。

ソウル五輪行きかけた六月の全日本体重別選手権で、正木(天理大教)に勝ながら、決勝で斉藤(国士大教)に判定負け、ソウルでの斉藤の踏ん張りを見て、「この次はオレだ」という気持ちにかられ、そのために、格下の選手を相手にするこの大会での取りこぼしは許されなかった。

「体調はふだんの五十%。それだけにホツとしました」と小川。「小内刈り」の足取りは

石田(86kg) 吉田(78kg) 連続優勝

全日本新人体重別選手権大会

二十才以下の全日本体重別選手権が、十一月二十七日講堂館で開かれた。

明治から石田輝也(八十六キロ)、吉田秀彦(七十八キロ)、関口敦司(七十一キロ)の三名が東京代表として出場。石田、吉田が前年に続いて勝ち二連勝をかざった。

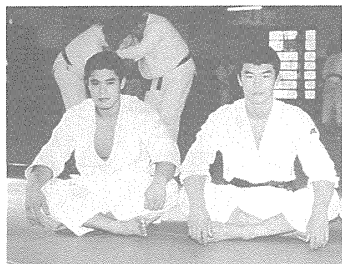
石田は高校二年生時に優勝しているの、通算三回目。尚、吉田は全試合一本勝ち、石田も決勝は判定であったが全試合を通じて安定した試合ぶりであった。また期待された関口は組手のまづさから力を出し切れず一回戦で敗退した。

【各級優勝者】

- ▼六十キロ級 乙黒増雄(日体大)
- ▼六十五キロ級 福田誠司(中大)
- ▼七十一キロ級 藤山茂(愛知・同朋高)
- ▼七十八キロ級 吉田秀彦(明大)
- ▼八十六キロ級 石田輝也(同)
- ▼九十五キロ級 中村桂央(東海大第五高)

▼九十五キロ超級 山田利彦

(東海大相模高)



石田(86kg) 吉田(78kg) 連続優勝

二年連続三位に甘じる 全日本団体選手権大会

第十七回、全日本団体選手権大会が、十二月四日、静岡市草薙競技場体育館で行われ、学生(天理、東海、明治、事業団(京葉ガス

相手の中途半端な技を返す狙いもあるんです」と、研究中の技であることを強調した。だが、原助監督にいつもの厳しさが戻っていた。これ外もいろいろ戦法を研究してくる。ふくらは、ノーマルだった昨年の世界選手権のようにはいかない。それが今後の課題だ。

吉田、飛松、小川トビリンへ 世界学生柔道選手団決まる

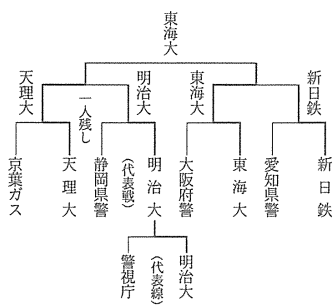
日本学生柔道連盟は九月、十一月十九日から二十三日まで、ソ連のトビリシで行われる世界学生柔道選手権の日本選手団を決める。コーチには明大の原吉実、東海大の山下泰裕両氏が選ばれ、選手は八十六キロ級を除き、八、九日に行われた正力杯太郎杯日本学生体重別選手権の優勝者が代表になった。代表選手は次の通り。

- ▼六十キロ級 丸山 明 筑波大
- ▼六十五キロ級 大熊正彦 東海大
- ▼七十一キロ級 古賀稔彦(日体大)
- ▼七十八キロ級 吉田秀彦(明大)
- ▼八十六キロ級 小林連人(東海大)
- ▼九十五キロ級 飛松和雄 明大
- ▼九十五キロ超級 無差別

小川直也(明大)、関根英之(東海大)

新日鉄 警察 警視庁、大阪府警、愛知県警、静岡県警の九チームで優勝が争われた。その結果東海大が一人残して天理大を破ってタイトルを獲得した。

明治はこの大会に、重いクラスの飛松(和)と、闘部を欠いたため、小川の負担が大き、小川もよく期待に応えて戦ったが、いま一步およばず昨年につづいて準決勝で負退した。



日本学生柔道選手権大会 (第四十回記念)

小川二度目の王座に！

全試合一本勝ち

第四十回記念日本学生柔道選手権大会が、十月三十日大阪市中央体育館で開催され各地の予選を経た七十九名の選手によってタイトルが争われた。

試合は体重無差別トーナメントで行われ、昨年、一年生でこの大会を制した昨年、世界柔道選手権大会無差別級で優勝している小川が初戦からすべて一本勝ちの強さを発揮。決勝はソウル五輪七十八キロ級代表の岡田（筑波大）と対戦することになった。しかし岡田が準決勝で足首を痛め決勝戦を棄権したため、アツ気なく小川の優勝が決まった。

小川は九月の体重別大会にも勝っているが、四十回を数える伝統の本大会は事実上の学生ナンバワンを決める場である。昨年は日程が世界選手権大会と重なったため出場出来なかったが、今回の試合内容は小川の成長ぶりを一段とうかがわせるものであった。



大外刈一本 対森選手

また、準々決勝まで進出した飛松（和）は岡田（筑波大）に対し、優勢に試合を進めているが、途中ヒザのジン帯を痛め無念の痛み負けとなった。

（丸囲み数字は段位）

▽ 四回戦

山崎 ⑦	内 股	中 林 ③
中谷 ③	判 定	林 ③
飛松 ③	優 勢	秋山 ③
岡田 ⑤	優 勢	白石 ③
森 ③	裏 投	小久保 ③
金野 ③	優 勢	平沼 ⑦
安藤 ③	判 定	相馬 ③
小川 ④	支え釣り	三谷 ⑦
山崎	優 勢	中谷
岡田	痛み負け	飛松和
森	判定	金野
小川	合わせ技	安藤

▽ 準々決勝

準決勝	
岡田	優 勢
小川	大外刈り
小川	不戦勝
岡田	

毎日新聞社評

抜群の強さ大器に磨き

決勝を戦う相手がいなかった。小川はただ一人、タタミの上に立ち、「一礼して主審に不戦勝の宣告を受け『ポスト斎藤』の誕生の一瞬はややあつてなかったが、小川のそれまでの五試合の戦いぶりを群を抜く強さだった。日本柔道はソウル五輪修敗から立ち直っていくには、新たなヒーローがどうしても必要だ。それだけに、一九三センチ、一三五キロの偉丈夫、小川の学生王座奪回はまぶしいまでに輝いてみえた。

二回戦から登場。積極的に前へ出て攻める。「小川につかまると、日本のどの選手も動きがとれない」といわれる『黄金の左腕』

の引きつけは強力そのものだ。一分二十二秒、赤堀（大体大）を大外返して仕留める。三回戦は山本（日大）をわずか四九秒、横四方固めで降した。次は大技の支え釣り込み足で八十二キロの三谷（近大）を宙に舞わせた。「僕はもともと一本勝ちが少ないのに、本当に珍しいことだ」という小川は快進撃に「落ち着け、落ち着け」と自分に言い聞かせていた。

結果的には「優勝戦」となった準決勝の森（近大）戦、力に加えセンスの良さを際立たせた。小川の左が森のエリをつかみ、動きを止めた。左腕でグイと押し込んで、間髪入れず引いた瞬間に右足を踏み込んでの大外刈り。一三五キロと小川とはほぼ同じ巨体を一転させていた。

「岡田さんと決勝を戦いたかった。こんな形の優勝は初めて、どう答えたらいのか」と戸惑いもみせた小川。東京・八王子高一年で柔道を始め、六年目で大器に磨きがかってきた。パルセロナ五輪に出たいです。ポスト斎藤？そこまではまだだいてません。でも、今日は自分で相手を追い込んでチャンスをつくっただけに、よかったと思う（村上清司）

全日本学生選手権大会歴代優勝者

（明大関係）

昭和二十六年	金子 泰興
昭和二十七年	曾根 康治
昭和二十八年	末 木 茂
昭和二十九年	石橋 毅次郎
昭和三十三年	神永 昭夫
昭和三十四年	重松 正成
昭和三十五年	重松 正成
昭和三十七年	朝田 紀明
昭和三十九年	坂口 征二
昭和四十年	山本 裕洋
昭和四十一年	山本 裕洋
昭和四十二年	篠巻 政利
昭和四十五年	河原 月夫
昭和四十七年	上村 春樹
昭和六十年	小川 直也
昭和六十年	小川 直也

吉田 (78 kg) 石田 (80 kg)

小川 (無差別)

堂々の優勝

アジア柔道選手権大会

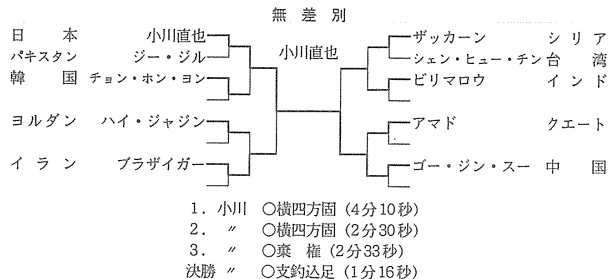
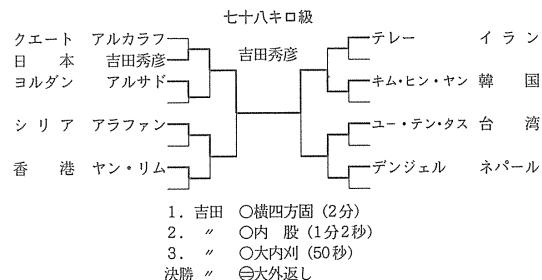
アジア大会が七月十七日、シリアのダマスカスで開催されたが日本は全階級制覇ならず優勝は五階級に留まった。

この大会に明大からは吉田 (七十八キロ)、石田 (八十六キロ)、小川 (無差別) が出場し各々優勝した。

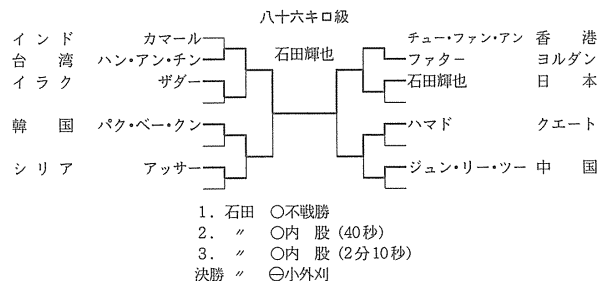
尚、優勝はこの三人の他、越野 (六十キロ東海大)、村上 (九十五キロ超、愛媛県警) の両選手、射手矢 (六十五キロ筑波OB)、吉鷹 (七十一キロ山形県警)、甲斐 (九十五キロ東海大) 選手は決勝で敗れた。

小川と吉田はダマスカス到着の着後から猛烈な下痢症状をおこし、特に小川は大会終日の試合当日には体重十キロ減という最悪のコンディションとなったが、無事全試合一本勝ちで切り抜けた。また小川の相手がみな小川より大型選手であったことは、体調の急変に屈しなかった事に併せて、今後の貴重な経

験となった。
吉田、石田とも決勝の韓国選手にやや手こずった他は問題ない勝利だった。



表彰台の小川



正力杯観戦記

(九十五キロ、九十五キロ超級)

橋本 一郎

私が明治大学を、卒業して十七年がたちますが、東京に住んでいる関係上試合を、よく観戦させてもらっています。ここへ来て漸く我が柔道部も低迷期をのり越え、期待出来る選手が、多くなり試合観戦にも力が入ります。さて昨年頑張った三階級で優勝した正力杯は、前日の試合で一年生吉田が、根性の内股で、優勝し明大勢にとって幸先の良いスタートだった。二日目は、小川、飛松、岡部の三人が出場予定だったが、岡部が肩の負傷で欠場していた。一年生出場ということで期待していたが、残念であった。完全に直して次の試合に備えてもらいたい。



さて試合は、八十六キロ級から九十五キロ級に上げて初めての試合になった飛松は、一階級上げた心配など、吹きとばす活躍であった。三回戦の山崎(近大)戦では、独特の首

投のような払い腰?で投げ、そして抑えて一本。決勝戦の合瀬(鹿屋体育大)には、飛松得意の粘り強い背負い投げが出て優勝した。この試合で優勝したということは、世界を目指すことになり、目標を世界において、重量級の外人向けである得意技、背負い投げの練習と同時に他の技も磨き世界の飛松になってもらいたい。

九十五キロ超級の小川は、昨年の正力杯の覇者で昨年と比較してどのような試合をするか興味のあるところであった。準々決勝の森(近大)、準決勝の中林(天理)、決勝の関根(東海)と学生柔道界重量級を、代表する選手に当たったが、森(僅差)、中林、双手刈、小内刈効果、関根、内股投有と二本勝はなかったのだが、試合内容は圧倒的な勝利だった。小川と互角に組んだのは、決勝戦関根の試合開始一分まで、あとは完全に小川が組勝って圧倒した。昨年の正力杯と比較すれば遙かに、強くなっているようである。

もはや学生柔道界においては、完全に頭一つ抜け出した存在となった。ただ小川には一本勝を取りにいけば、とれるだけの実力がありそうなのだが、大技で決められなかったのは、少々残念だった。しかし、小川のことであるから、この点は必ず克服することであろう。そして更に精進し強くなって世界に名を残す名選手になってももらいたいものである。

昭和四十五年度卒

日本学生柔道体重別

大会を観戦して

(初日六十キロ、八十キロ)

河田 恵吾

すごい二年生が現われた。それが七十八キロの吉田を見ての感想である。黄金期の先輩方の(一年生での)活躍も、すごかったのですが、自分が明治に出入りさせてもらっている十二年間、こんな奴は初めて見るような気がします。

今回の七十八キロは筑波の岡田の欠場もあり吉田には、絶好のチャンスとは思っていたが決勝での逆転勝は見事の一言であった。吉田は準決勝も逆転勝ちし、決勝の相手は近大四年の船戸であった。試合巧者の船戸は吉田に引き手をとらせ



ず、効果を取ったまま優位に試合運び、残り時間もわずかとなった。誰も吉田の負けを覚悟したが、残り十四秒で(内股で)有効を取り、そのまま抑えこみ、一本勝ちとなった。会場のOB諸氏、学生達の喜び

ようをご想像下さい。この吉田の勝負に対する執念は、たいしたものである。

又、この日は七十一キロに天本、飛松(兄)、七十八キロに考富士、八十六キロに石田が出場した。七十一キロは昨年の優勝者天本が講道舎での先輩の意地をみせ、古賀を倒し二連覇をめざした。が、準決勝で古賀の背負い投げに敗れ、夢は果たせなかった。

八十六キロは今夏のアジア大会でも優勝し油の乗っている石田に、優勝の期待がかかったが、準決勝で山本(日大)に敗れた。石田は自分の型にはまれば、抜群の強さを発揮するが、そうでない場合はもういという面がある。今回の相手も実力には石田の敵ではない気もあるが、その辺が今後の課題と思われる。

この初日での活躍が他の学生達の士気を高め、翌日の飛松(弟)、小川の優勝につながっていくことになった。

これで、この体重別は昨年に続き、明治が七階級のうち、三階級を制した。これもひとえに日頃の稽古の賜物と思われる。二日目があり、急遽、道場で簡単な祝賀会をやるということになった。勝った時の宴会は楽しいもので、時間の立つのも忘れ、美酒を味わせてもらった。

しかし、学生たちに一言、席上で密先生が言われた「この喜びを来年、団体戦優勝まで取っておきたい」という言葉を忘れずに、稽古に励んで欲しいものである。

ソウル五輪柔道

師範 姿 節 雄

ソウル五輪柔道選手団の壮行式が九月十六日講道館大道場で行われ、上村監督は金四個は是非獲得したいと云って出かけた。

調子よくゆけば昨年のエッセンの世界選手権の成績と思いはあわせて金五個獲得も出来るのではないかと期待して送り出したものだが、初戦より続く惨敗、やっと最終日の齋藤（九十五キロ超級）で金を獲得し日本柔道の面目を保ったとはいえ五輪柔道開始以来の最低成績で柔道関係者のみならず国民の期待を大きく裏切ったことは誠に残念であった。

この敗因は何であつたらうか？ソウル五輪柔道緒戦細川（六十キロ級）が準決勝でアサノ（米國）に僅差で涙をのまされたが、この試合は誰がみても細川の勝ちでありミス・ジャッ



ジのため負けにされてしまった。これが山本（六十五キロ級）古賀（七十一キロ級）、岡田（七十八キロ級）に連鎖反応的に齒車を狂わされてしまったようだ。まだまだ彼等の柔道が若いと云うのはかたはな

い。ここ等のクラスで金の二・三

個は獲得出来るかと予想していたが相手のペースにはまった感であった。大迫の銀獲得は善戦であったが、須貝（九十五キロ級）の初戦における敗退は悔いのこの試合であった。寝技を嫌った須貝が両手を広げて「待て」を期待して立ち上がったときトレノ（フランス）に後から抱きつかれ裏投げで有効を奪われたが、試合中に相手に背を向けることは絶対に慎むべきで常に相手の正面に立つよう心掛けるべきであった。齋藤（九十五キロ超級）慎重に試合を進めさすが老巧な試合運びであった。

永年に亘る柔道界の紛争も国会議員柔道連盟（稲場修会長）、柔道審議会（金丸信会長）の調停により五月漸く統一されたが学生柔道連盟の一部においては未だスッカリした役員構成が出来ない状態が続いており遺憾なことである。今回のソウル五輪の苦しい経験をよく教訓として夫々柔道人が一致協力講道館柔道発展のため努力する秋である。

柔道再建に特効薬はない。日々の地道な精進の積み重ね以外に方法はない。

十月三日の朝日新聞の天声人語はつぎのように述べている。『日本の柔道はソウル五輪であまりふるわなかった。「プレッシャー」に勝てなかった」からだなどといわれている。どの種目でも選手はプレッシャー、精神的な圧迫感という内部の敵と闘わなければならない。眠れなくなる。下痢をする。精神状態が不安定になる。調子が乱れる。そういう自分をどうやって安定させ、鼓舞するか。過去の五輪メダリストたちを対象に、ある調査によると解消法は三つあるそう。①十

分に練習し、自信をもつてのぞむ②自己暗示を利用する③平常心を保つ。九十五キロ超級で金メダルをとった斎藤は、試合のあと「無心の心境でいままでやってきたことをすべて出しきろうと思った」とのべた。①の例だろう。それは悔いのない練習が前提だ」又故三船先生は「勝つことは自然体から

だ。体がある一ヶ所においてはならぬ。これを偏する云々、一ヶ所におかぬかきり体は何処にでもあ。意識して体を何処かにおくのでなく相手の動きに応じてその時その場の体を

無心のうちに使うことが肝要である」と教えている。

最近の練習をみると稽古でなく試合稽古のみで、投げられまいとして相手に持たせぬ組手争いばかりに終始しては本来の稽古の意味はない。お互に自然体で組み合せて攻防のうちに相手を崩し、作り、掛けの稽古をしなければ技の進歩は望めない。

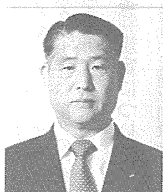
又先日のソウル五輪柔道会場の如き異常な雰囲気にも惑わされぬ様身の鍛錬を平素より心掛けねばならぬ。

所感 最近の柔道

渡 辺 政 雄

日本伝来の柔道も正に世界のものとなった。今回のソウルオリンピックをテレビ観戦して、つくづくそれを感じた。

本家日本の「金」は一個に留まり、他の六個は韓国などの



各国が分け合った。日本が惨敗したから云うのではないが「柔道が世界的な競技になった」事を手は本大会を通じて小生が得た第一の感想である。いかに多くの国が参加した大会とはいえ小生に云わせれ

ばあの試合場で行われていたのは、相手の力を利用する、『体さばき』また、『間合い』という柔道の基本的動作とはほど遠い、単なる「格闘技」である。柔道の国際化を注目してきた一人として国際化が進めば進む程、柔道本来の姿が失われて行く様に思われてならない。

時代の趨勢と云う事なのか、国際化とは常に変化するものである、と一般論としては理解しつつも、この変り様は残念でならない。日本柔道が通じなくなつた今とては、小生の思い込んでいる柔道はどうやら過去のものとなつてしまった様だ。とは云え、伝統の柔道復活を決してあきらめてしまつた訳ではないのだから、柔道がここまで変つて来た原因を考え、私心を重ねて見た。

閑々、この原稿を書いている最中の十月二十五日、NHKのスポーツ番組が日本柔道を語っていたが、その中で柔道が単なる格闘技とした原因として柔道着のサイズ（袖が細く

引手がとりくいたため、問題にしていた。同感ではあるが、これなどはあくまでも一要因であり、主たるものではないと思う。小生は、現在の「審判規定にこそ根本的原因がある」と考えるのだが、如何だろうか。

審判規定について

最近の柔道が何故「刀」優先の格闘技になってしまったかは選手の実任ではなく「現在の審判規定がそうさせてしまった」といってもいい過ぎではあるまい。

相手の体勢に關係なく、何秒以内に技を仕掛けなければ「注意」「指導（負け）」技を掛けてきた相手を押し倒せば「効果（勝ち）」これでは自分を捨てて相手を崩し一本勝ちを狙っていく危険を、誰もおかさなくなる。自分は安定した体勢で相手をねじり倒したら、足でもとって押し倒す方が安全に勝てるからだ。このままでいくと、いつれ一本足で自分を支えて投げ、内股、跳腰、払腰、釣込足、などの技が、技術的に衰退してしまうのではないかと。現に華麗な大技「跳腰」が試合でめったに見られなくなっている。せめて「効果」だけでも規定からははずすことが出来ないものか。また「場外注意」は逃げ回って戦わない（試合をさせない）もののに適用、と改められないものか、以上提案したい。

選手強化

(一) 基礎体力と精神力について考える
体力面ではいかに体重制をとっても 日本人と欧米人との

差が歴然としているのだから、先ず、彼等に匹敵する基礎体力づくりをしなければならない。この体力の上に技が磨かれていく訳だが、体力差を意識し過ぎて、「刀」と「技」の違いがつかぬまま練習している者が目につく。極端な体力差は如何ともしたが体力である程度彼等に迫りさえすれば、技の修練度は日本人が数段まさっている（彼等の試合や練習を見れば解る筈だ）ことを思い返し、自信をもって稽古の幅を広げていくべきである。近年体力の方は、トレーニング法の改善や食生活の変化によってその差がだいぶ縮まった様に思うが、むしろ懸念されるのは、体力ハンディをカバーする筆の精神集中力、や、彼等の云う「ガッツ」の面でも劣勢にたたされている事である。小生は精神主義者ではないが、「刀」で劣っているからこそ、旺盛な闘争心や技術が必要なのではないのか。

ついでこの間まで日本人は世界中から精神力の強化の様にいわれていた。その事の善し悪しは措いて、ここきて生活が豊かになったから、ハングリーでなくなったから——と大ざっぱにかたづけ、解った様な顔をしている訳にはいかない。ハングリーについて云えば大試合になればなる程ファイトを燃やし、自分の力を出しきる選手を生んでいる欧米の生活は、一般的にいってまだ我々より豊かである。つまりところ、この問題は個人の自覚を待つ以外の何ものでもない。この面の指導強化を特に願う次第である。

(二) コーチ陣の再編

現在の審判規定の下で勝を得よう思うならば、コーチ陣を

再編しなくてはなるまい。これまでの様に、柔道のコーチだけでは世界と戦える選手を作ることが出来ないのではないかと。と云うのは前述のように現在の柔道はレスリングにちかく、相撲にも近いのだから当面の手段として、これらの分野から専門家を登用し、レス、相撲、あるいはサンボ、などの技をとり入れていくしかないと考える。

(三) コーチは教えない

教えるのがコーチの仕事であるが、教えられて選手が強くなる範囲は限られている。他人の指導によって身につく技量や力には、おのずから限界があるという事だ。その限界を越え、他人にない自分だけの何かを持ち得たものを一流という柔道に限らず、いかなる分野に於いてもまわりの指導に頼り切って自己啓発の努力が出来ないものは、決して一流にはない。

コーチは基本の指導に徹するべきであり、こまかい技術指導は必要ない。自己研鑽の芽をつむ親切な指導は、決して本物をつくりえない。選手はたえず自身で考え、すぐれた他人の技術を盗みとって自分のものとする。この域に達したものが本物である。いかにして選手をやる気にさせるか、これがコーチの仕事である。

(四) 柔道でメシが食えるシステムを

現在の日本で、スポーツでメシが食えるのは野球、相撲、ゴルフなどのプロ選手か、極く少数のアマチュアスポーツ関係者に限られる。オリンピックでは「金」の期待をスッパリかけられる柔道選手も大半はサラリーマンとして身分を保持し

ている。

合宿や遠征参加などでは勤務先の理解を得ているとはいえ、基本的身分は拘束されている。学生の有望選手も将来性を囑望されながら多くはサラリーマンに落ちてしまう。将来の生活を考えれば柔道に徹しきれないからである。その意味から、山下、斉藤の両金メダリストが、大学の指導者として後進の指導にあたっていることは喜ばしい。

今回、神永君が全柔連の専務理事に就いたが、きくところによると無報酬の勤務であるという。国際化いよいよ急のなかで日本柔道の、指揮官の身分が名誉職つかいとは恐れ入ったとか云い様がなる。神永君の能力と手腕を信じてはいるが、ボランティア活動にはおのずから限界がある筈だ。是非、関係者の努力によって、この様な状況は一三回の間のことにして頂きたい。

柔道に限らず、金銭上の問題をあまり表面に持ち出さない日本のアマチュアスポーツ団体は、IOCにとって優等生といえよう。小生自身オリンピックに於けるアマチュアズムの意義は認識しているつもりである。したがって各国で行われている、メダリストへの莫大な報酬制度を日本にもとり入れるべき、という考えには必ずしも賛同しない。

しかし、国の将来を担う青年のバイタリティと関わるスポーツの問題、特にオリンピックや世界選手権大会に於ける金メダルの数は、国の発展性に無関係とは思えない。したがって、東京大会以来オリンピック開催ごとにメダルの数が減っていく日本スポーツ界の凋落現象に何とか歯止めをかけなくては

それには先ず、スポーツの現場に在るもの経済的環境をととのえ、システム出し、優秀選手が、選手生活に徹底出きる方向へ、早急に打ち出してやる事だ。選手強化策は、ここからスタートしてもらいたい。くだいて云えば、生活のすべてを保証しうるとまでは云わないが、頑張っているもの何がかの支援をうてやれないものか、経済大國なのだから、こゝ事である。

おわりに

二十九年度（日本鋼管株常勤監査役）

五輪柔道を見て
(上村君へ)

村田 恒太郎

ソウル五輪、本当に御苦勞様でした。君の苦しい胸中は分
かりすぎるほど分り、何度も何度もテレビの画面を見詰めな
がら、最悪の巡り合せが君に集中している。明治は損な役回
りの宿命があるようで耐えられなかった。

レスリング出身ながら最近はどこからかと言うと柔道に関心が多い。レスリングも東京五輪の時は強化委員長で参加したが、当時の日本レスの基礎には柔道、相撲があった。「金五〇」

私のレスの予想は、金一or Q、その一はマスコミと大違いで四十八キログの小林以外に無かつたが、金二は大成功（淋しい限りだが）と協会も云って居るが？それは兎も角、柔道は三ヶと思いつ、不安材料は沢山抱えている事と想像していたものの、惨敗であり、くやしい思いと腹立たしい思い、そして君に対する同情（と云つては失礼かも）の思いで一杯であつた。入門して五十年六段の今は、専門家の君に生意氣なうだだがレスを含めて常に一考している事を記して、大きな事は云わないが、せめて明治の柔道の参考になればと思いつ、書いてゐる。

この敗因は東京五輪からの二十四年間の無策にあります。柔道はスポーツとか道とかと論議する前に国際場裡で参加した以上、勝つための柔道と考えなければなりません。東京五輪前（二年位）のヘーシングの試合を何度も見ましたが、当時のトップクラスの山舖等に完全に勝っていながら、敗けにされてゐる。日本柔道の間違いが露呈されて、体面を保っただけで外人研究を怠って済ませて終ったようである。同席の故広瀬氏や山本博は、山舖や河野（大阪府警）敗けを認めてゐる。敗けた彼は不満な顔一つ見せず、日本柔道の實力を見極めていたようだった。

次にソ連のサンボチームの来日である。（当時、ソ連の柔道はサンボ協会にあり、後独立した。）

この時、シュルツという一〇〇キロ級の選手で三十才を過ぎ、サンボのコーチを兼ねていたが、彼は立派な姿勢で立つだけで日本柔道（学生トップ陣）は崩す事も出来なかった。彼

勝手なことを独断と偏見？で書きましたが、失礼があったらお許し下さい。今にして思うと、小生は良き時代に柔道を学んだものと喜んでおります。しかし、また一方で私道では今では通用しない量の上の水練であったのか、私道と思っても思っています。

しかし、夢よりも一度、現在だって我々が納得出来る柔道をする選手もおります。やり様によって、復活は可能です。それを明治大学柔道部に期待して、終りといえます。

が、今や「ルールの改正は兎も角」外国の真似事を追っているうちに一歩も二歩も後退してしまった。多くが高校に入っているレスラーで基礎的な力にや欠ける日本レスリングにも柔道相模的な日本の改革を迫られていると私考する最中の出来事であったが、ソウルの金はレスリング以上に柔道に期待しながら一抹の不安は的中してしまったようだ。

（Ｓ・十四婆さんの主将の時節であり、明大柔道部へ入部も考えたが、九才か始めた柔道であり、レスリング協会の理で心を残してレスリングの門を叩いた。）レスリング協会の理事長五年間にはロスの総監督を始め国際試合には参加したものの、（マスコリ等の評価は兎も角）レス界の実情はお寒い限りであり、（こころざし等の備は他は）今は、離れて東京でテレビ観戦でと極め込んだのは前記の次第であります。

は足払い位の技であつたが、こゝでバランズと力だけで拮抗できる事を悟つた筈である。こゝ連の柔道研究はシユルツから始まつたのではなからうか、次でステパノフの登場であつた。彼の引き廻して後帯を取り、引込み返し（俄返し）で寝技に持ち込み、閃節に迫る。そのスピードと力と技に、日本の中量級は振り廻されたのだが（あれは技じゃない）と笑い飛ばして各地で敗れた。（神戸大会では大会先生と同居していたが、会場で亡くなれたが、ショックと報ぜられた）

更に日本王者の岡野が無名のサンピストに十字固めに破れた。これに眼を覆い、ケガ負けと無視したが、重大問題として研究し発表しなかったのも、柔道日本であった。

前後二回サンボの国際大会に、柔道、レスの選手を連れてこの眼で見た事は同封の新聞記事の通りである。更に二回目は、関勝治君を連れていったが、当時マンボ柔道等と云われた関の柔道は、スピード、力でも彼らをしのぎ柔道抜きでしるゝも全ぞで関の立つ奴がなかなか。彼等を驚ろかせ、観衆の人も絶大で関の柔道を変型、異端視した当時柔道界は今関に学ばなくてはならなくなつた。

全日本級で拓大OBの安倉が、五回も六回も帯を取られて片手で投げ倒されて顔面ソー白の場面を見て、ソ連の潜在する選手層も感じ取れた。

敗者の弁は「今も変りないと思う」「今度やれば勝てる」「力だけで技は無いですよ」とその経験を語って終ってしまいが、柔道家は、もっとその真実に迫るべきであつたらう。

同じ道衣で組み合って、滅茶苦茶に破れながら（大した事

ないヨ」と云う報告に(そんなもんだろ)と落させていた日本柔道は少くとも世界柔道を志していなかったと取られる。

今わかったとしても、それにはその対策に時間が掛かるのである。二十年のツケが廻ってきたと思ふべきであります。

日本のレスも遠征の度に報告書には定り文句が並びます。技術は劣らないが力(基礎体力の差があった)と……敗けの結果報告に「力を技術となす」と云う方向に眼を向ける事を嫌う。柔道も恐らく同じであらうと思う。

テレビ(五、六日は見たであろう)の感想だから適確では無いが須貝の審判ジャッジは須貝の初歩のミスによるものであり、後半の三分間は全く勝てて無かった。細川の手数は多かったが、アサノの巴投げに対処する、あの平衡感覚のバランスは、技術的にすぐれており(ボクシングの様に、デフェンシスにポイントを入れれば)立派な柔道であり、力があつた。

決勝では、力が劣っていたという事だろう。細川が決勝に進出しても同じ徹を踏んだ事も想像出来る。一つ心配した事がある。細川が新聞コメントで何キロの減量か知らないが、不安のある発言と思つたのは、「前回は減量が失敗したが、今回は長い時間を掛けて減量したので減量に成功している」と云う事だ。これは想像だが減量から試合は始まっている事は当然だが(五〜六キロの減量だろう)減量に時間を掛けたという事であった。これは減量する事を調整など、称するが、当日までに減量する調整は、真の稽古とならない。三ヶ月前に猛

金二と騒ぐが、残屑のようにボイと捨てられるような、重量級を見ると、日本全体のレスの実力なんか、たかが知れていると思うのが真情であります。

長くなりましたが明治の現況も、レスの弱さと共に心配しております。

昔の明治は、スクラムの強化にブリッジと格闘を求めて、北島忠さんがラグビー部員を引連れてレスをやった。我々は相撲部でぶつかり、柔道衣で互角に稽古した。柔道部も裸でレスに挑んだ、そんな異種格闘の交流に明治のレスの黄金時代

強敵サンボ

柔道もシタまく寝わざ

ソ連遠征で知った底力

「ソ連の柔道」といわれるサンボの第二回国際トーナメントが二日から四日までモスクワで開かれた。日本からは岩約五段(兵庫県警、安斎四段(河合柔道)、鳥越四段(三井建設)ら柔道の有力選手十六人が出場したが、結果は岩約が優勝しただけにとどまった。日本チームの村田慎太郎監督「サンボは日本の柔道にとっておそるべき相手。将来、日本の柔道と異なった型の柔道からオリンピックのゴールドメダリストが生れる可能性はじゅうぶある」と「ソ連サンボおそるべし」といっている。

練習で五キロを減量した?ならば良いが、減量を特別視しては駄目だ。四キロの減量は朝飯を食って、午後からサウナはダメ。練習を十分して朝まで喰わなければ簡単に出来る。スタミナ等と云うが喰わず飲まず汗をばら、稽古を乗り越えて、当日の試合が普通に出て来なければ勝てない。減量選手のスケジュールは、そこまで入っていないといけない。調整タタの稽古はたゞスタミナを減少させるだけで一利も無いのであります。けれど……レスでもそれだけの辛抱とファイトが伴わず調整など、言葉を変えたがのが実情である。

サンボの世界大会に出場したトプクラスの柔道マンは、野瀬が二三回(一)行なつたのだが、細川(岡田クラス)(勿論重量級も必要だが)は、どんどん参加して勝つて来なければならない。日本のチャンピオンがサンボに敗れたら、まずい。云う前に勝つて来るべきである(又)両手刈りや肩車(飛行機投げ)は柔道技にもある。極まらないと……稽古を止めれば、実戦のチャンス(必ず一回はあるはず)に使えない。

要は研究心の問題である。今大会のレスリングでベルグラゾフ(今回六十八キロ優勝)に富山が敗れた。小内刈りをやれと指示して一年後、富山は小内でポイントを極め、ベルはその後倒し出られなくなった。富山は勝った。その一年後、ベルは小内刈りで日本選手を倒した。驚くべき研究心であった。右をひっぱり込んで小外の打込みをやっているソ連選手に日本選手の眼が向かない。試合ではその通り小外刈りで裏返しにされた。数々の体験の中で、日本式レスリングが外国選手に取って変えられて行く、淋しい限りである。世間の評価は、

がありました。日本の柔道より、明治の柔道が世界を制するのを、夢見たいと思っております。(勿論レスも同様ですが)上村君、本当に御苦労様でした。機会があったら、明治柔道の(二十五年まで)復活の表情や、古くは、斎藤、久米、山口、山肩、古賀、伊藤、信、門屋、曾根等とレスとの交流を語り合い乍ら明治体育会館の躍進を考えたいと思います。好き勝手な事を書きましたが、何年か先輩と云う事でお許し頂きたい。

神永君にも宜敷く御伝え下さい。

スタイルもわざと柔道にそっくりといわれるサンボは日本にはじめてお目見えしたのは、六年前に日本アマレス協会がソ連サンボチームを招待したとき。それ以来日本のレスリング、柔道関係者の間にサンボを研究しようという空気が強まって、四十年に日本サンボ協会ができた。今大会への参加も単に金メダルをかせいでくれるだけでなくソ連のサンボの実態をつかんでこようという目的があった。

これまで何度があった柔道とサンボの手あわせの内容から見て、こんどの遠征では少なくとも二、三級に優勝できると踏んでいたが、結果はサンボの「地力」に圧倒された形だった。今大会に出場した日本選手のうち一〇〇キロ級岩約、八十六キロ級安斎、八十八キロ級鳥越はいずれも日本柔道界の一流選手。岩約は全日本選手権に三回出場の実績があり、安斎もことしの全日本選手権に出演、鳥越は日大時代はポイントゲ

ツターとして大活躍していた。この三選手のほか六十八キロ級の三段（日体大）、五十八キロ級鎌田三段（東北柔専大）にも優勝の望みがかけられていたが、成績は全員三位以内に入賞したものの優勝は岩釣だけ。とくに安斉と鳥越が優勝できなかったのが関係者にはショックだったようだ。

このほど帰国した日本チーム監督村田恒太郎氏（日本サンボ協会理事長）の話によれば、岩釣は一回戦から決勝まであぶなげなかったが、他の選手はソ連選手の寝わざと強引な投げわざにおされ気味だったという。

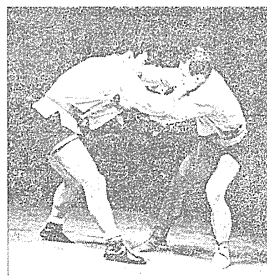
ソ連選手のわざで目立つのはなんといっても関節わざで、八十キロ級の決勝で鳥越はコリエフにまるで柔道のわざの説明書そのままに関節をとられてしまったそう。

寝わざも当然鍛えてあるはずの日本選手が「型通り」にやられてしまうのは柔道とサンボの練習法の差にあったようだ。たとえば柔道にもサンボにもわざを鍛える練習法に、立った相手を投げずにわざだけ繰り返しかける『打ち込み』があるが、柔道の打ち込みは立ちわざだけなのにに対し、サンボでは立ちわざから寝わざに引き込みざまかける十字固めなどの関節わざの打ち込みもある。村田監督は「とにかくソ連選手は寝わざの基本練習を熱心に行っている。とかく立ちわざだけに走りがちな日本選手が寝わざで勝負してもかなうはずがない」という。

一方、投げわざはきめの細かさの点で日本選手がすぐれているが、力によりがちのソ連選手のわざは日本選手にない迫力があるといわれる。柔道で腰を引くと姿勢が悪いと審判に

注意されるが、サンボでは腰を引こうが、相手の帯びをつかもうがかわらない。そんな相手を投げるのだから腰を伸ばした姿勢でわざをかけ合う柔道にない強引さが生れてくるのは当然。

こんどの大会でも安斉はタンデロフに強引な大腰で五回も場外に投げとばされている。現実には日本選手のわざがサンボの力に敗れたのだから、これまでのように日本柔道界は「サンボの投げわざは参考にならない」などといつて無視していた、そのうちサンボ出身のソ連柔道選手に追い越されてしまうだろう。



41年の日ソ対抗サンボ大会で

納会・忘年会・祝勝会・激励会

本年度、柔道部納会と明柔会関東地区忘年会が、小川日本学生選手権、吉田、飛松、小川、日本学生体重別選手権、各優勝の祝勝会を兼ねて十二月七日夜、大学会館ホールで開かれた。またこの会はもう一つ、十二月十七日にソ連、トビリシ市で行われる世界学生選手権大会に出場する、原助監督（コーチ、小川、無差別）、飛松（九十五キロ）、吉田（七十八キロ）の激励会も兼ねた。

年末のあわただしい中、集まったOBたちは学生と一緒に和やかな一時を過ごし、八時、校歌、部歌の斉唱をもって散会した。

尚、世界学生に出場する三選手に対し、明柔会より餞別が贈られた。

部員の本年度解散は二十六日午後。

来春入る二世部員

小林忠吉氏（三十五年度）と町田良行氏（三十七年度）の長男が、来春各々、入学入部する。両名とも附属高校の選手である。



パーティ会場の若手OBたち

定例幹事会

秋期、明柔会定例幹事会が十一月四日六時より大学会館会議室で開かれた。

会議は先ず柔道部より、夏期合宿以後の部活動と年末までの予定について報告があった(原助監督)。

次いで事務局から会費納入の現況説明、会報出から「88R号」の発行予定日と作業の進行状況が報告された。

また、学柔連理事会の報告が杉原理事よりなされたが、今日は特に懸念はなかった。一連の報告の後議題の討議に入った。

今回のテーマは現場から出された「有馬高校生獲得対策」で約一時間に亘る活発な討議がなされた。

まず、諸般の事情から主な他校にやおよそれ意味の現況説明が原助監督よりあり、それを受けて、監督経験者の一人としてこの問題で現場を補佐している関勝治監督が他校の体育施設制度と本学との相異の説明、それをふまえた上でいかに我々の力を機能させるか様々の試案が提出された。

討議は活発に行われ、他校の事情や優遇生

徒を持った高校の教師や、父兄の心理分析?にまで及んだが、予想以上のスカウトフィーバーのなかで、明柔会として、地方活動を機能させ監督、助監督を有効に支援する体制づくりの作業に入る事とした。

また、これまで推薦を受けたものにしほられていたセレクション参加者を一般にも呼びかける事とし、そのための資料作りをすることもきめた。

以上の作業を監督経験者を中心とした小委員会が諮問案作成というかたちで行い、それを一月後半の監事会にはかって発足させる。

出席幹事氏名(敬称略数字は年度)

姿 節雄(十)、神田和夫(二十)
渡辺欣嗣(二十九)、渡辺政雄(二十九)
伊藤義一(三十)、野田健次郎(三十三)
小林敏邦(三十三)、金丸国一(三十四)
田中章雄(三十三)、杉原 構(三十七)
関 勝治(三十九)、佐々木満(四十)
渡辺公雄(四十二)、北瀬暁一(四十二)
代田正俊(四十四)、岩田久和(四十四)
星野治ひろ(四十四)、吉井敬吉(四十七)
島海又八郎(四十八)、松田幸次(四十八)
原吉 実(四十九)、加瀬次郎(五十一)

静岡明柔会

第二十三回全日本選抜柔道団体選手権大会が静岡市制百周年記念として静岡・草薙体育館で十二月四日(日)開催されるに先立ち、静岡在住者による明柔会が始めて開催され、同時にこれが姿師範、上村監督、原助監督、小林OBの歓迎の宴となった。何しろ静岡で初めての明柔会でありみな顔を合せるのが初めてであった。各々会場の「寿司市」に不安顔の集まりであったが吉沢君の努力により名古屋から駆けつけた田中君を含め一〇名の参加となった。

「姿先生がお着きになりました」の報に一同正座し、宇野先輩(三十二年卒)の歓迎の挨拶と塩崎(三十六年卒)の「乾杯」で酒宴となる。

姿師範より「皆、健康に注意せよ。特に睡眠は十分に」とるように。上村監督より活動現況報告等があり、経済摩擦のみではなく、スポーツ(柔道)の世界でも我国は世界の矢面に立たされている事がわかった。

ともあれ、皆自分の若かりし頃の夢に浸り時の過ぎるのを忘れる一時だった。

日頃の部員の懸命の努力はもとより、監督、助監督 諸先輩の熱意に敬意を表し、又明日への明大柔道部の復活の息吹を感じて静岡の夜だった。

三十六年卒 早瀬勝義

静岡OBリスト

宇野 茂夫(三十三) 御殿場市
塩崎 英一(三十三) 御殿場市
早瀬 勝義(三十三) 静岡市
大村 勝利(三十八) 下田市
栗田 和明(三十七) 富士宮市
鈴木 紀一(三十八) 浜松市
吉沢 修一(四十五) 静岡市
大森 昇(四十二) 静岡市
加茂博久仁(四十七) 静岡市
薦田 茂久(四十八) 富士市
工藤勝太郎(十一) 御殿場市

段上道夫(五十二)、入江秀明(五十三)
河田恵吾(五十四)、小山賢司(五十七)
中村正浩(五十八)
座長 吉井 敬吉

原 助監督

東京学柔道強化部長に

学柔連理事会は、組織がえた東京学柔道の強化部長に明大柔道部助監督、原吉実氏を選び、本人もこれを了承した。

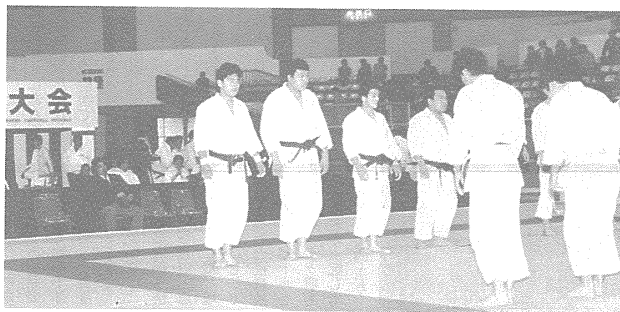
篠巻政利氏

全学柔連理事長を代行

一連の紛争解決にともなうスタートした全学柔連の執行部で篠巻政利理事(明大)が理事長代行として業務を担当する。

アキシデント

代表幹事の神永昭夫氏が十一月明大道場で稽古中にアキレスけんを切断したが、入院二週間て業務に復帰した。



随筆と近況

(原稿到着順)



曾根康治君の墓参をして

伊澤 潔

前号の「明菜」に向う三軒両隣と言う題で執筆させて戴き、多少私の明大柔道部の歴史、我々の時代、我々の学年の柔道修行状況を書かせてもらい、合せて同期会をやろうと言う呼びかけをしたのだが……岡山在住の三宅君から連絡が入ったんだけど、その他誰からの連絡も電話もなかった。多少がっかりしていた矢先、一夜東京都柔道連盟の大会の帰り田中章雄君（私の三軒先の住人）が同期の宮下光国君を連れだって私の家によってき

た。三人で焼酎のお湯割を飲んでいううちに、いつの間にかお彼岸に曾根の墓参しようと言うことになった。たまたま田中君は山中湖の近くで別荘を持っているので、そして田中君はその別荘から何回か曾根の墓参りをしているので田中君に別荘を借り道案内をしてもらうことにした。

九月二十二日午後五時新橋第一ホテル前に集合、宮下君、田中君、田中君の二男と私、計四名が私の運転するワゴン車に乗り一路、山

分。大自然の中に富士霊園がある。御彼岸なのでお参りにくる車、バスの数があるのすく、天気が悪く富士山は見えなかったが霊園の環境としてはまさに日本一と云っていい所だ。

先ずは、曾根君の墓に向う。お墓の番号は十三一五二二〇番。フラットな地面に同サイズのお墓が一区画約五百位にある。

全日本チャンピオン、世界柔道選手権者である曾根康治君も同じ大きな墓の中に永眠していると思うと、我々明大柔道部の頂点に立った男、我々同期の誇りとして少しさみしい気がした。早速我女房が用意した花束とお線香をお墓に供えてお参りをし冥福を祈った。お墓は美しく、清く、整備されていて大変気持ち良かった。しかしいかんせん御殿場駅からバスで三十分、東京からは車で片道約三時間程度はかかるので、私もそうだったが、墓参りに行こう、行こうと思って仲間々実行出来なかった。やはり往復三〇キロの遠方なので、お参りした時も墓参者の姿もなく、誰かを参りをしたと云う様子も見えず。その上天気が悪かった為か曾根君の墓は寂しそだった。そしてふと廻りを見渡すと他のお墓もそれぞれ寂しそに見える。

その後、田中君の案内で我々柔道部が大変お世話になった鶴目栄八先生のお墓参りをし墓前にお花とお線香をお供えしておまいりした。生前曾根君夫婦は鶴目先生と良くお付き合いされていた由、きっと同じ富士を見ながら、柔道の話や明大柔道部のことについて語り合い、見守つてくれているのではないと思ひ、安心して帰路についた。

ここ六七年なんとなく胸のつかえがある様な気がしていたが、そのつかえも送って流れる様に落ちて、その夜はゆっくりサウナで疲れを流して、痛飲したことであつた。同期の諸君、そして一同に集まっても何かつうではありませんか、あと二年で還暦それまでは、門屋、永井、大野、三宅、須藤、山田、原、一度集まって同期のけじめをつけようではありませんか。東京には私と宮下がいるので連絡くれ。

TEL (〇三) 三三三三三三四五番

住所 東京都新宿区余丁町十一ノ三四

またある日、八島、葉山、小田、久米、斎藤諸先生をはじめ若くして永眠された柔道部の先輩、後輩の冥福を祈る会を持ったなと思ひます。誰か良い案があつたら教えてください。

二十七年年度（東京パーナー會）

中湖に向かった。約二時後山中湖より二キロ離れた高台にある別荘に到着した。田中君の別荘は思ったよりも大きく二階建て約四十坪、五十坪の建物であつた。二階が約二十坪の広間でサウナは四十五人が入れる大きさ。いつも閉めっぱなしとか勿体ないかぎりだ。

二十人位は平気で泊まれるので柔道部も借りてトレーニング合宿でもやったら良いと思う。別荘の廻りは林で坂道も多く、こんな場所ではトレーニングすれば気分転換にもなるし、足腰の鍛錬にもなると思う。その夜は鉄板焼を食べながら、サウナ入浴後のビールを楽んだ。二十三日は生憎の小雨、少し肌寒い天気、十時頃出発、一路曾根君の永眠している富士霊園に向う。山中湖から約四十五十



近況報告と少々のお婆さん

佐久間 豪



明菜会会員の皆様御無沙汰しております。昭和二十五年四月卒業して早くも三十年の歳月が過ぎようとしております。

その間、幾多の紆余曲折がありました。現在、市川市役所の経済部商工課に勤務しております。

市川市という母校の道場に近い所に勤務しながら、ついつい疎遠になり申し訳ない思っております。金銀を送っていたか度に懐かしい諸先生、先輩方々、学生諸君のご活躍の報に接し嬉しく思っております。特に最近古豪明治の復活も間近に感じる数々の実績に接し、頼もしく思ひます。

しかし、一方で、御指導いただいた先輩方の訃報に接することもあり、大変残念に思っています。

まだまだ元気で活躍が期待される先輩の訃報は誠に悲しい報せです。ご遺族の方々の気持を思うと本当につくくなります。日頃鍛えている身体ですから体には自信を持つのが当然ですが、現役を退いてからの健康管理がいかに大切か、私事で恐縮ですが皆様の参考になればと思い書かせていただきます。私の勤務する役所では三十五才になると成人病の検査が義務づけられます。

最初の成人病検査の時、コレステロール値が高い、と指摘され治療することになりました。私も卒業後健康には留意していたつもりで、町道場へも週に三日程稽古に行っていました。コレステロールの高いことを指摘されてからは一層運動するよう心掛けました。そして四十才の時柔道の稽古不足を補うつもりでバスケットボールの同好会をくり、練習していた或る日、突然右胸部に何か詰まったような感じがしたと同時に、呼吸しても体のどこかに穴が空いたように空気が抜けるような感じがしました。それから一年間休々に歩ける距離が短くなり、四十二才頃には三〇〇

メートル位しか歩けなくなりまし。右胸が痛むような感じで、足が前へ出なくなり又、稽古へ行っても、前かがみになって胸膈がしました。通院してましたので医師に事情を説明したのですが医師は心電図をとってくれましたが、異常はないとのこと。私は何か得体の知らない病気になる、医師もわからない病気になる、といった思い死が近づいているこの不安におそれ、眠れぬ日が続きました。そんな時、関勝治君の先生である加藤幸夫先生に、千葉県の年令別選手権に出てみないか、と誘われ、私も最後の思い出にと思い、試合をするからにはまず足腰の強化をと考え、市のトレーニングセンターへ行き、医師が事前診断の当番医で、私の状況説明を聞いた上で付加心電図をとり、非常に危険な状態なのに直ちに入院しなさい、といわれ五十四年十二月にバイパスの手術をうけました。手術には十三時間もかかりましたが、医師は当時心臓手術にかけては名医といわれた順天堂の鈴木教授でしたので、この先生でなければ、それが私の寿命だ、先生を信頼するしかない、と決めておりました。その後順調に回復しましたが、コレステロール値は若干下が

いていて苦しいことも少なくなりました。

この狭心症は、今後、完全に直ることはないでしょうが、六十才の停年迄社会人として充実した生活が送れるよう騙し騙し頑張りたいと思っています。いつ発作がおきるかわからないではないありますが、これも明治大学の柔道部で鍛えられた負けじ魂と会報で知る会員各位のご活躍に勇気づけられてのことと感謝しております。

最後になりましたが、明柔会の発展と会員各位のご健康、更に明治大学柔道部が優勝の栄冠を奪回すること一日も早まらんことを願っております。

あ！大切なことを忘れておりました。学生時代は柔道部のため、何のお手伝いも出来なかった私ですが、五十四年の手術後、県内市役所職員の柔道大会に市川市の大将として参加して以来、本年迄、三十戦して今だ母校柔道部の名を汚していません（尤も、思切れ敗ける選手も出場して来る大会です）。そして、この間、市川市は年度優秀することが出来まして、これも一重に学生時代に鍛えて下さった諸先輩の御鞭・感謝しつつ今は、柔道を楽しんでおります。

三十四年度卒（市川市役所）

姿師範来仙

熊谷 雅之

去る、八月十六日、姿師範御妻と関勝治先生、資信夫先輩がみちのくの旅の途中仙台に立ち寄り来仙しました。

東北明柔会は早速歓迎の宴を開き、久々に先生方を囲んで楽しい一時を過ごしました。懐かしい思い出を語り合った当夜の模様や、参加されたOBの方々の近況を熊谷が代表して報告いたしました。

姿先生が来仙したのは何年ぶりの事でしょうか。私自身、卒業して五年目ですが、仙台で姿先生や関先生にお目にかかったことはありません。

姿先生が来られる（ボスが仙台に来る）という連絡を受けた時は突然のことです。「エッ！あの姿先生がですか」と思わずきき返した位でした。近々先生にお目にかかれると思うと、懐かしさのあまり、しばらくの間は興奮状態になりました。

他の先輩方も同じ様な気持で先生の来仙を首を長くして待っておられた様です。

姿師範御一行を迎えた東北明柔会は歓迎会

りましたが、正常値よりは依然として高く、医師に推められて再開した柔道等の運動の効果もなく、昨年四月再発し、九月に、今度はPTCAといふ冠状動脈にゴム風船を入れて脹ませる手術を行ない、又本年再発して四月にPTCA手術を行いました。

再発の原因はいろいろあると思いますが、医師の説明によると、現役時の食事の質・量を引退してから急に低減しては落せない。力が入らないに短命なのと同じだ、とのこと。ストレスが溜まるのも非常に良くない、とのこと。私もその点は十分に注意して来たつもりですが、要は身体と心臓に限りません。専門医に診てもらったところ、心臓病に限らずに治療すれば九十以上が助かる程進歩していると言われております。

現在の私の生活は、菜食主義に等しい食事と一般の人よりやや多い運動量（勿論柔道も続けています。で、昨年春、九十三キロあった体重を七十三キロに落し維持するよう努めております。減量する時は十六百カロリーに制限しましたので、空腹だん夜眠れず、水を呑んでも我慢するなど、喰しんぬの私にはとても辛いことでした。しかし、今は慣れた空腹でも平気で眠れますし、体が軽く歩

を仙台の一番町にある創製料理店で開催しました。当日私は朝から気が張りつめ、何となく落ちつきませんでした。

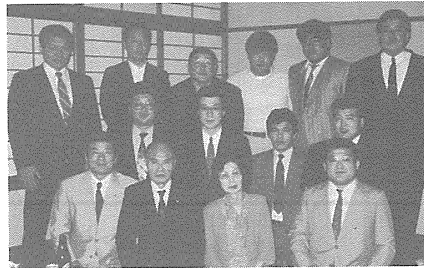
会場には早目に向かったのですが御一行はすでに席に着いておられました。久しぶりに姿先生、関先生に面と向かう事になった私は緊張のあまり挨拶に戸惑ってしまいました。

OBの方々と遅れることなく間もなく全員が揃い司会を佐藤幸一先生と飛鳥義経先生が受けもたれて会は定刻に開かれました。

はじめに姿師範の御挨拶をいただきました。先生は挨拶の中で日本柔道界の内紛について述べた問題が決着に到るまでのいきさつを報告して頂きました。諄々と語られる先生のお言葉には日本柔道の将来を思いやる熱い御心が込められており、一同心を打たれた事でありました。また、全国各地に散らばっているOB達を思う心ばかりに満ちたお話しもあり師範のあたたかさと柔道人生の偉大さを改めて感じとりました。

先生の挨拶に続いて乾杯のあと歓談に入り、師範、関先生と膝をまじえて懐かしい学生時代の思い出話に花をかせました。ここでも姿先生のユーモアの中にも含蓄あるお話に皆引き込まれたのでした。

私自身 現在、母校である東北高校の講師と柔道部のコーチを兼任していることであつて私が一・二年時に監督をされていた関先生や教師範から、これからの高校柔道の在り方について御意見を伺っているうちに今さらながら両先生が自分にとって身近な方であることに気がつき、親しみと、うれしさにいつまでも浸っております。



東北明柔会（姿先生御夫妻を囲んで）

OBの方々もすっかり学生時代の気分に戻つたらしく酔つことも忘れたかの様に話が次から次とはずんでアツという間に所定の時間になつてしまいました。時の進行がやたらに早かつた本会の終りにあたつて 師範を囲んで撮つた記念写真を同封いたします。

つしゃいですが、仕事がら東京や各地方での明柔会に参加されているものと思ひます。他の明柔会と比べますと、人数の限られた東北明柔会ではありますが、メンバーの皆さんそろつて、大きく温かい東北人ならではの心情的持主です。みな明大柔道部の精神を忘れることなく日々の仕事に、また宮城県柔道の発展につくっております。

- * 昭和三十八年度卒・佐藤幸一 宮城県本郷
- * 昭和三十九年度卒・飛鳥義枝・東洋醸造
- * 昭和四十三年度卒・安斎泰人 中央卸売市場
- * 昭和五十一年度卒・相沢邦夫・宮城県警
- * 昭和五十三年度卒・米田 守 塩釜市内接骨院
- * 昭和五十八年度卒・熊谷雅之・東北高校
- * 昭和五十九年度卒・早坂久永
- * 昭和六十一年度卒・秀島 裕 仙台駅前エンターテイン
- * 昭和六十一年度卒・熊谷芳昭 宮城県調理士専門学校在学中

姿先生、関先生、姿先輩思い出に残るひと時を誠にありがとうございました。健康にはくれぐれもお氣をつけになり次回の来仙をお待ちしております。

- * 昭和六十一年度卒・宮城県立高等学校
- * 昭和六十一年度卒・富田弘美先生、いら

また、東京や他府県におられるOBの皆様、御一行をお迎えして開かれたこの度の東北明柔会には時のたつのがあまりに早く、和やかな中にもみな後髪を引かれる思いで散会しました。

最後に現役部員の活躍と各地明柔会の発展を祈念して、簡単なが姿師範来仙の報告と致します。

五十八年度（東北高校講師）

サラリーマンと転勤

金 谷 洋 志

私は四十七年三月に卒業し、四月に萬有製薬㈱に入社しました。入社以来、東京、栃木、神戸、高知、そして今回福岡に転勤となりました。

先ず我が社を紹介いたします。資本金五百億円従業員四千人で、薬局向けは「ツッファリン」「スマイル」が代表されますが、九十％以上が



S.55.11 同期会（神戸にて）筆者は左より2人目

医師向けの薬品メーカーで他国籍企業です。入社試験の面接では「何学部ですか？」との質問に「はい、柔道部です」「学生運動はどう考えますか？」との件については「はい、いい事だと思っています」（スポーツと間違いをして……）と胸を張って答えてしまった私のようなものでも、この会社に入社出来たのは、当時の監督、神永昭夫先生や倉宿所の小田明道先生、小宮良平先生の御尽力によるものでした。明柔会の中で製薬会社に就職している者は数少ない様です。

そして転勤の度に先ず目を通すのが、明柔会員名簿です。転勤先に先輩がいらっしゃるって安心する訳です。

東京勤務の時は、橋本一郎、石井康男先輩（四十五年度）などと、よく飲み歩き、又住いが西川口近くであったので、何故か、吉永浩一君（四十八年度）達がよく泊まりに来たものです。

五十九年十一月には、四十六年度の同期会を神戸で開き、その時偶然にも試合入り参加した上村春樹君（四十七年度）も飛び入り参加し、大いに学生時代を思い出した。今は倉敷にて開業中です。

栃木では、黒住大和先生に大変お世話になりました。栃木興業の昼飯のみそ汁の味が今も思い出されます。又、足利市在住の鈴木強君（同期メジャー）ともよく飲み、お宅にも伺つて、御両親様にも大変お世話になりました。この地の「益子焼き」で陶器の美、

が、偶然にも西村良之先輩（四十五年度）の奥様の実家の近くでもあり、特に母様は、大変お世話になりました。未だに、家族ぐるみのおつき合いをさせていただいております。九年も住み慣れたこの地を永住の地と思つておりましたところが、（家を持つと転勤

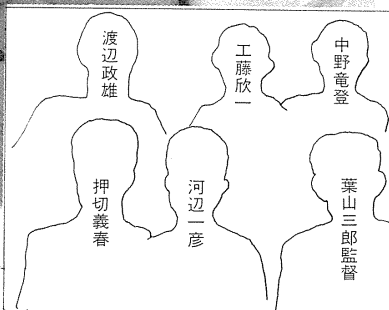
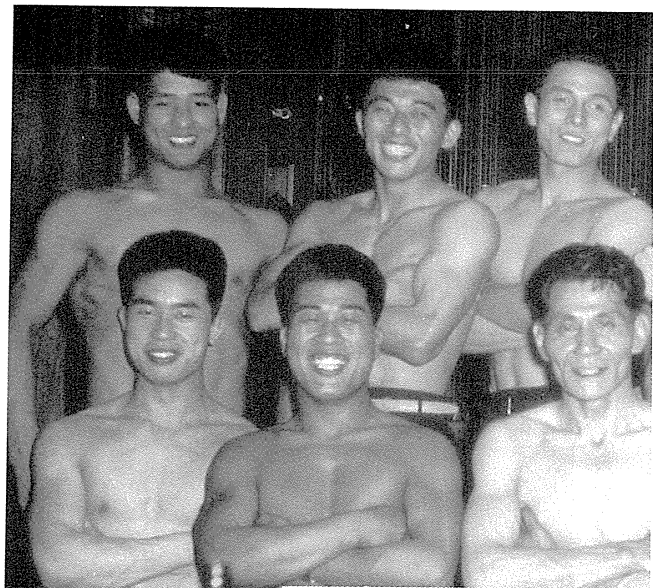
同期会(32年度)



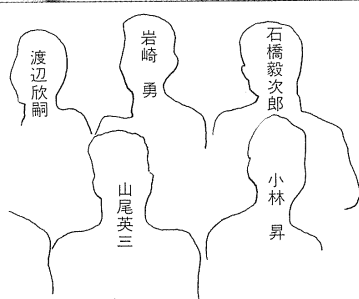
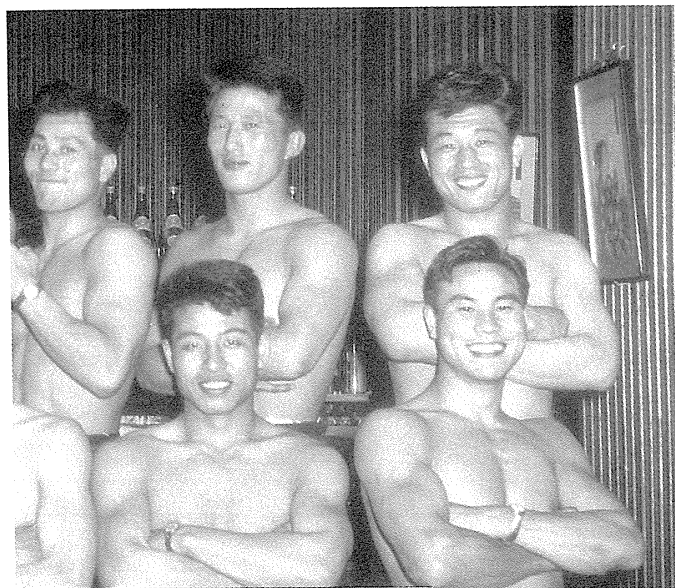
兼定正明

神戸で一度も咲かず事の出来なかつた洋蘭が見事に花をつけ、毎年咲かせる事が出来鉢も増えました。今では洋蘭の魅力にも取りつかれています。特別厚い人情も知り、おおらかなこの地でなら、人間本来の自然な生き方が出来る事を知った時、今回の福岡転勤で

思い出の一枚



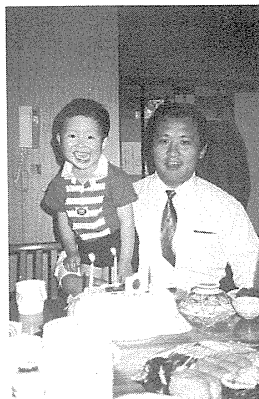
葉山先生を囲んで



昭和二九年

松村孝明
(旧姓 下瀬
五四年度卒)

山口に帰っているいろいろありました。(1)名前が変った。(2)体重が83kgから95kgになった。(3)親父になつた。(4)仕事の鬼になつた。現在、次の仕事に關係してあります。ホテルもやっています。明会合の会には「秋おおいでませ」またお客を紹介して下さい。皆様是非、秋おおいでませ。明の乗道部員で下さつた誇りを失つてはおりません。来年は是非「秋」で合宿をして下さい。御協力させて頂きます。



長男と私



53年 学生体重別大会で同期の栗原君と

営 業 種 目

住宅建設業	
松村建設株式会社	2-1260
上木工業株式会社	通商産業省 建設省土木事務所・山形県 不動産取引業
政府付託 国庫貯金取扱	
萩本 隆	2-5252
萩本 隆 出品	2-2534
山形ゴブレット	2-5252
ステーションナオ	
萩本 隆	2-7881
萩本の茶屋	2-7915
松村産業株式会社	2-7168
松山栄さきのこ荘	
松村急配運輸有限公司	2-1260
学校法人	
松 隆 学 園	
施設センター	5-1324
高等専門学校	5-1775
高等専門学校	6-0789

マネージャーだより

商四 小林 蒼



年、頼も押し迫
り、あわただし
いとなりました。
全国にて御活躍
の諸先生、諸先輩
におかれましては
日頃の御支援、御
協力に代表して厚
く御礼申し上げます。

一年を振り返りますと本年も色々な出来事がありました。学生柔道界の一本化、ソウルオリンピック開催と代表選考会、例年以上の多忙な毎日でした。

の優勝、二年連続日本学生選手権大会出場三名のこのような中、アジア選手権大会出場三名、二度目の日本学生選手権大会優勝と、個人戦の場においての明大勢の活躍は往年の黄金期を偲はせるものがあったのではないでしよう大勢の活躍が取り上げられ、マスコミ等に明大勢の活躍が取り上げられ、王者明治復活かと報じられる様になりました。

から選手層の薄さ等々、直面する問題、弊害は険しいもの、応援してくだる先生方、先輩方、全国関係者の皆様の期待にも応えるために、最大の目標である日本学生優勝大会優勝を勝ち取り、真の王者明治復活を全国に轟かすというたいしたものと思えます。また、この選手はもう一人部員の今後の精進に大いに期待します。

御衣装束を賜りました。大阪逓信の際には、金城先生を始め多くの大阪明会会の先生方、先輩方お集り頂き、激励会に応援、宿舎まで大変御世話になりました。全日本連括団体選手権大会では静岡を訪れ、吉沢先輩を始め静岡地区の先輩方に御世話になりました。平素より練習中に怪我人が出ないその度、小山接骨院、小山先生に特別な御診察をお願いしております。こちらにもまた感謝に絶えぬ思いです。誠にありがとうございました。

新年を迎えますとやがて卒業の季節となります。早いもので柔道部での生活もそろそろ

訪れた日のごとき克明に憶えております。中でも初めて道場に
了えようとしていた頃です。今でも初めて主務として約一年あまり過してまいりました。この間、失敗の連続でした。数え切れない程怒鳴られ、自己嫌惡に落ている毎日でした。例えば現在メリカ在任の篠原先生に送って頂いた高麗参酒、せっかくの御好意に反して学生連達勝手に飲みほして、先生方からおかしきを受けたこともありました。藤鷹先輩から宿居先に送っていただいたお肉の御礼を忘れるということもありました。この場をお借りし御詫し申し上げます。

このような失敗の連続ではございましてが、
 反面、幾度となく、はげましてのお言葉も頂きました。亡父の同期の先生方には公私に渡るもので、
 御世話を頂き、熊本の坂本靖正先生には上京の際にお伺いまで何かと御配慮して頂き、先日は就職のお祝いまで頂きました。主務の用事で東南貿易を訪れる時にはいつも、代田の御先で筆を始め吉井敏吉先輩、入江秀明先輩には御馳走になりました。ありがとございまして。

全くの平凡人であった自分が柔道部の生活をつづけてこれたのは今でも不思議に思いますが、上村先生、原先生の御指導のお蔭と感

"たより" 海外から

エクストンから(イギリス)

To all at Teiji University Judo Club,

With Best Wishes for Christmas
and the New Year

From, Matthew Satou
Patrice LeGER
2 Rue Louis Jouvet
26100 ROMANS
FRANCE

小野瀬氏から
(シンガポール)

Singapore

POST CARD

いちゃんかん ほとに やも ありがとう
ニッパリました
フランス ヤマキ きた くださり
めっぴのせんせ、カキくせりによろしく
パトリス と ビール
Tokso

By Air Mail
Par Avion

謝いたしております。また、柔道部に入部する契機をつくって頂き、受け身から、卒業の進路まで、父子二代に渡り、姿先生には御指導して頂きました。多感である時期に、導いて頂いたことは併せでした。本当にありがとうございました。周囲の先生方、先輩方の御理解有って、ここまでやってこれたと思います。個人的なことはかりを書いてしまいました、が、どうかおゆるし下さい。最後に、数多くの激励の品々を頂いております。後記に掲載いたしましたし御礼の御挨拶とさせていただきます。

激励品リスト(敬称を略させて頂きます)
浜本義典 タオル、激励金
山肩敬美 ビール券
川口孝夫 ビール券
パトリス お酒
小川父兄 御菓子、お酒
神田和夫 インスタント食品
早田 豊 インスタント食品
今堀浩之 インスタント食品

横山酒店 清涼飲料水
川口(明大中野)先生 魚類
工藤則彦 激励金
父兄会 激励金
校友会 激励金
大阪明栄会 激励金
(京都)校友会京都支部 激励金
吉沢修一 御米、オロナミンC、激励金
日田孝志 激励金
岡田父兄 激励金
篠巻政利 お肉
海堀父兄 柿
佐藤 治 柔道着
加茂博久仁 激励金
静岡県柔道連盟 激励金
岩田克之 激励金
押切義春 ビール券
百瀬恵夫 激励金
宇野茂夫 激励金
塩崎英一 激励金
早瀬勝義 激励金
鈴木紀一 激励金
大森 昇 激励金
吉沢修一 激励金
鹿田茂久 激励金

企画力、技術の生かされた印刷

- PR関係美術印刷
- 事務用印刷・ビジネスフォーム印刷
- 出版関係印刷
- ポリエチレン・ポリプロピレン各種印刷
- 製袋・加工、各種加工成型、シール印刷加工



有限会社 渡辺欣勝堂
代表取締役 渡辺 欣 嗣

神田営業所 101 東京都千代田区神田三崎町2丁目21番10号
電話 (03) 262-4655 (代)
本社工場 115 東京都北区浮間3丁目5番28号
電話 (03) 967-9317 (代)

加茂博久仁 激励金
橋本一郎 激励金
小野瀬雅幸 激励金
神山浩之 清涼飲料水
松林健児 清涼飲料水
吉田延行 清涼飲料水
神永正夫 パーティ用ウイスキー

原助監督結婚

原助監督の結婚式が、さる十一月十八日(金)に、ロイヤル・ホール横浜にて行われた。原助監督はご承知の通り三年前から明治の道場に復帰し、学生達と寝食を共にしながら指導してきた。最近の学生達の活躍は、彼の熱血指導による所が大きい。

ハンサムボーイで俳優でもある彼は女性にもてるだろうに、どうして結婚しないのかと回りに気をもませていたが、今回めでたく挙式となった。

当日は、一次会四〇〇名、二次会一〇〇名とたいへん数の人が全国から祝いにかけてた。日頃、ゴルフにも似た彼のきびしい表情もこの日はかりは、にこやかそのもので別人の様であった。

盛会の会場には、柔道関係者や学生達にまじり、俳優やプロゴルファーの顔も見られ、新郎新婦の交友の広さがうかがわれた。

一次会では、少し緊張気味の彼であったが、二次会では表情もゆるみ、OB、中島平氏の軽妙な司会進行の中で余裕をみせてパーティのホストを務めていた。

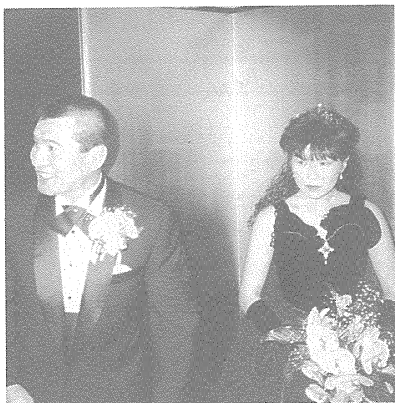
最後に明治関係者による、校歌斉唱となった。司会者の「明治関係者は前にお集まり下さい」という声に、皆が前に集まったが会場を見回すと、残った人の方が少なかったような気がした。

がした。
明柔関係者がこれだけ一堂に会するのは仲々ないことで、これも彼の明治に対する深い情熱と、後輩のめんどろみの良きによるものだろう。

現場の学生にとって、原助監督は正にきびしい存在であるが、うが反面、たいへん後輩思いであることを忘れてはなるまい。

尚、原吉実・夕子御夫妻の新居は次の通り

横浜市南区真金町二一五 大通公園ハイツ 701



祝賀 原吉実・夕子夫妻

道場往来



オリンピック①

オリンピックの遺跡、ヘラの神殿で太陽光線から取られた火がソウルのメインスタジアムにとまされた。アジアの空に燃え盛った二度めの聖火である。

火はアテネを出発して、中近東のトルコ、レバノン、イラン、アジアのインド、ビルマ、タイなど多くの国々の上空を降りて回って韓国に到着した。

ギリシャから開催国へ聖火を運ぶ習慣はいつ頃から始まったのか忘れたが、思い出されるのは古代オリンピックで叫ばれた「エケケイリア」(Ekekeiria)という言葉である。「オリンピック休戦」とか「聖なる休戦」とか訳されているが、この語の本来的意味は「手をあさえる」と云うことで、刀のつかにかけた手を差しとめることだろう。

古代オリンピックは四年に一回ゼウスの神の祭典にともなう競技会だった。

ギリシャ民族の祭典だが、当時は多数のポリスという小国家に分かれ、ポリス同士は対立抗争していた。だから、オリンピックへ向けて旅をする人びとの安全を、どうして守るのかが大きな問題だった。

そこで登場したのが「エケケイリア」である。各ポリスは祭典の時は武力行使を中止して、オリンピックに向う旅の安全をはかることにした。文獻は全体として、この安全保障は実行され、ポリス間の「慢性的戦争状態」が四年ごとの競技で浄化、昇華されたことを伝えている。

古代の「エケケイリア」の精神は、現代でも必要である。

聖火巡行のルート周辺国にはレバノン、イラン、イラク、アフガン、ビルマ等紛争地域が多いばかりか、当の韓国が国境線をはさんで北ときびしく対峙している。「刀のつかに手をかけるのはやめよう」と上空を飛ぶ聖火は、ポリスにかかわる近代国家郡によびかけて

いる。

オリンピック②

言葉の解説めいたことをもう一つ書く。プロ野球の放送から広まったのかと思うが、「ハッスル」(Hustle)という言葉が日常使われる。

「ハッスルブレ」からはじまって「ハッスル人間」。「君、もう少しハッスルしたまえ!」と会社あたりで上役の小言にまで使われる。アメリカの大リーグでは前から盛んに使っていたが、日本で流行り出したのは、テレビが一般化した三十年代前半からだと思う。新語辞典には登場しているが、念のため英和辞書を引いてみると「Hustle」は「乱暴に押す、押し出す」と云う意味から、俗語では「元氣よくやる、仕事をどしどしやる」で、敏腕な活動家を「Hustler(ハッスラー)」という。

もう一つ別のハッスルがある。この方はスベルが「Hustle」だが俗語では「けんか、口論」である。大きな辞書がないのってない語だか、発音記号は前のハッスルが[hast]で後のハッスルは[hassl]である。日本語の「ハッスル」と云う発音はどうも

あとの方の「げんか、口論」を意味する方に近くなる。

もう一つ、「パススル」(Passure)という語がある。この方は「大騒ぎする、空騒ぎする」という意味だ。

ソウルオリンピック、ボクシング会場の暴力シーンは電波にのって世界中を駆けめぐったが、まじりを決してリンチになれ込んだ韓国コーチ陣の行為は(Graze)で、柄の悪い方である。

舞台が舞台だけに影響が大きく、当事者は刑事罰を受けるそうだ。同じスポーツ関係者として正に「他山の石」とすべき事件であった。

オリンピック③

オリンピックを特集したグラビアの真中に、体操で「綱」をとった高校生がメダルをかざし、体中であらうく喜びを現わしている写真があった。

その下に「銀メダル」を胸に目を伏せている我が柔道の細川君の写真もあった。「ヤレヤレ」と思っているが、写っているうちに、だんだんと腹がたてて来た。

競技種目が進めば、堂々の銀メダルでも「何故金か……」とその周辺がとり沙汰さ

れ、片や三位どころが六位入賞でも「よく頑張った、すばらしい」ということになる。

どうしてこの様な扱いになるのだろうか。その伝でいけば体操だって、かつては体操日本といわれ「金」を総ざらした時代があったではないか。

「お家芸柔道惨敗」の大見出しに始まりその論調は、みなお家芸なのにだらしがないで

る。しかし、いったいお家芸とは何なのだ。その国から発生した競技のチャンピオンで在りつづけている種目と国名があったら教えてもらいたい。

開きなおりと云われるのを承知でいわせてもらえば、国技柔道、お家芸柔道と、大会のたびごと無条件に「金メダル」獲得を科されている柔道を世間様は日頃どれ程フォローしているのか。マスコミは国内の各柔道大会をどのレベルで扱っているのか。世界にまったく適用しない、サッカー、ラグビー、ゴルフ、野球、テニスなどくらべて

解りやすい例をあげてみる。ゼニにからむ事ではあるが、現在、体操から回ってくる柔道の予算は、ハンドボールの半分を少し越える額である。全階級「金」をとってあたり前

の様云われている柔道の予算が、この辺りにランクされている事を知っている人は余りいない。

また、この方は万にも問題がないとは云えないが、体操の理事者に柔道関係者はいない。オリンピックのためにある日本体育協会ではないかもしれないが、お家芸柔道に対する扱いは体操でさえこの程度なのである。オリンピック柔道参加国数七十、いまやメキン競技の一つとなつてはいる柔道であればこそ世間様に文句の一つもないたくなつてくる。

柔道が正式種目になった東京大会からすでに二十四年、この間、オリンピックで、世界選手権大会で、メダルの内容が一度も本家の座をゆすぶ事はなかった。選手、関係者の頑張りにもかかわらず、今回はじめて他国の後塵を拝する結果になった。

先きも述べたが、これに対する世間の評価は、小さく皮相的なものでばかりで、中にはしるに近しいものさえあったことは、直接の関係者でない我々にとつてさえも、惨敗以上に重苦しい出来事だった。

ソウルが終つて丁度一月、現場はバルセロナへ向けてすでに作動した。

背水の陣とはまさにこの事だろう。

われら同期生 (1)

31年度



サンピン会の仲間たち

五島 光

数年前よりやっと我々も、定期的に同期会「サンピン会」を催す様になった。キャプテンだった浅野をはじめ、丸山、山崎、磯、滝本、杉山、佐藤、五島等である。今のところ集まるメンバーは、皆東京や近郊に住んでいる者ばかりだ。

今迄に何度か同期会の計画も立てたが若い時は、仕事、生活、その他色々な障害があり仲々実行までには至らなかったが、五十も過ぎるといくらかゆとりが出て来て皆楽しみになって集まる様になった。学校の会合には参加せず「サンピン会」だけ出席と云う者もいるが、今更先輩ズラして行きたくない、と云う者も居り強制はしないことにしている。ただ明会費だけは全員納めているはずである。

今回同期の何かを書くに当たり色々考えたが、卒業してから三十二年も経っているのだから、昔の事を思い出そうと思ってもなかなか無理の様だ。いつも会っている前記メンバー中心に今迄あまり知られていない事、等を書くことにする。



(現在の浅野と山崎)

浅野鉄郎、彼は高校一年生の時、野球をやっていたと云うのを知っている人は少ないと思う。

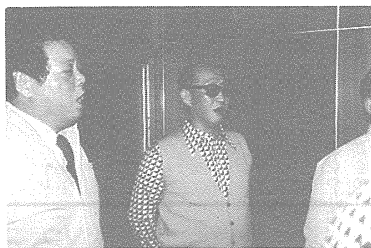
千葉県立大多喜高校に入学した彼は、柔道部には入らず野球部に入った。大多喜は県下の名門校だったが、野球部はあまり強くなかった。それで、球を素手で捕る練習でもしたそうである。そして、その年の夏の大会の県予選に、選手として出場した。千葉県はレベルが高いので、残念ながら一回戦で負けたそうだが。

一見、おとなしそうな見える浅野だが、昔は相当残酷な事もした様だ。中学生か高校生の時からはつきりしないが、彼は軍鶏を飼っていた。



(現在の五島と丸山)

大森市場では滝本が海老問屋の社長だ。彼も今は荒川区柔道連盟の普及部長として又自宅近くの中学校の柔道を指導している。彼も一年の時は合宿所に行ったが当時人数が多かった為、体の小さい彼は一人押し入れに寝かされたのである。イビキをかくと横をしめられ



(現在の五島と滝本)

有望視されていたのに、学生時代は盲腸の手術をした後、傷口がなかなか直らず、その上痔でもずっと悩まされ、さんざんだった。その上卒業後は肋膜炎にかかり長い間、療養生活を続ける事にもな

しかしある日大事に育てていた軍鶏を猫にとられて了ったそう。腹を立てた彼は又々鶏舎にあらわれた猫を木刀でメッタ打ちにして殺してしまった。おまけに化けて来ては困ると家族に相談したところ、喰ってしまったと云う事になり、父、兄、彼との三人で喰ってしまったそう。

又、大学一年の時、小林基甫を連れて、母校の合宿練習に行った際、後輩に栄養をつけてやろうと思いつき、小使さんと二人で学校の近くの農家の飼犬を、いつもうるさいからと殺し鍋料理にして食べさせたそうである。小林も、まさか犬と猫と犬に祟られていたのかも知れない。同期ナンバーワンの実力で将来

の猫と犬に祟られていたのかも知れない。同期ナンバーワンの実力で将来有望視されていたのに、学生時代は盲腸の手術をした後、傷口がなかなか直らず、その上痔でもずっと悩まされ、さんざんだった。その上卒業後は肋膜炎にかかり長い間、療養生活を続ける事にもな

ったのである。現在、浅野は、仏壇の販売会社に勤務している。小林は、三年ほど前、ガンのため同期一番の仏様になってしまった。

我が四年の時には、無冠に終ってしまった。伝統を汚し、頭を丸刈りにして、お詫びした苦しい出がある。卒業後皆がやや道場と疎遠になった時期、丸山は我々を代表して一人、後輩の為に何かと尽力してしてくれた事は感謝にたえない事である。

特に神永監督時代、陸から監督をバックアップしようと、彼が首頭をとって、有志を募り作ったのが、下町明柔会と聞く。会員は四十名程度だが、後輩の為なら、お金を出すのを惜しまないという人情味溢れる人達ばかりが会員になっている。そして丸山は、この会の幹事長をやっている。彼がいてこそ我々三十一期生も面目がたつと云うものである。

又、彼は現在、柔道七段、台東区柔道連盟理事長、東京消防庁柔道師範にもなっている。すべて彼の人望のなせるわざである。

丸山には、車の宣伝じゃないけれど、「くうねるあそび」がピッタリだ。一〇キロを超す巨体を維持する為、現在でも彼は、食欲旺盛で沢山食べる。何を食べるのにも彼は食べ方が実に見事だ。食べ物のポイントをよく知っているのだ。せっせと食糧を口に、食べる時、時間がかかっても、実に丁寧に食べる。カニ、手、爪の先の肉まで、きれいに吸い込む様に食べる。箸から、手から、口で吸うまで適宜に必要、実にうまそうに手際よく平らげる。料理も、まるで丸山の口の

中に入るのを喜んでいるかの様に入っていくのである。一緒に食事をしても実に気持ちがいい。したがって、いろいろな人から食事に誘われる機会が多く、うらやましい。杉山は江東区柔道連盟の理事長で七段である。大学の時は一年間だけ、地下道場で練習したがその後は道場の大きい警視庁の道場で練習したそうである。小柄だけど実にガッチリとした体をしている。今、彼の魅力は職業である。築地の鮨問屋の社長なのである。大学の会合等の後など、お得意先の寿司屋へ連れて行ってくれる。最高級の鮨を口にする事が出来るのである。決して彼とてタダの物ではないだろうに、実人がいのである。丸山が大事にしている人である。

でしまい、夏等は、たまったものではなかった。北海道浜益で漁師をやっていた実家も、姉がだんだん獲れなくなり実家から仕送りがなくなったため、合宿所を出て、芝の自動車部品屋に住み込み苦勞して大学を卒業した。しかし今は海老問屋の社長、同期の中で一人、頭の毛が退化してしまっている。又河岸の荒くれ男とケンカしたとかで目を怪我している。昔はなかなかの男前だったが、今は少し、人相が悪くなった様な気がする。この人も、もし大森でなく築地あたりなら丸山に大事にされるところだが――。

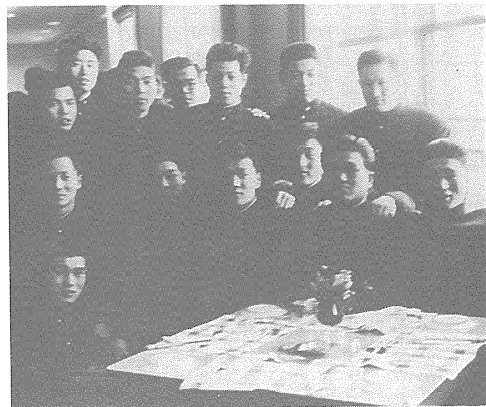
山崎は昔と少しも変わっていないから、どこで会っても間違う事はない。彼は学生時代に東京湾へ網打ちに連れて行ってもらった時、船上の宴会で、唄えと云われたが唄えず、それなら海へ飛び込めと云われて、本当に飛び込むとしたと云う話がある。たしかに山崎が唄を唄ったのを聞いた事がなかった。それがいつどこで変身したのか。カラオケがあるとマイクを持って離さないものである。それに、まあよく喋る、大阪弁で「サンピン」は、よほど楽しくて、うれしいのだろう。いつまでも楽しい会である事を願いたい。唄で思いつくのは、浅野も唄はまるっきり駄目だ。昔一度だけ童謡の「ハトポッチ」を聞いた事があるが、それ以外はキャブテンが音頭とする時の「オオー明治」ぐらいかも知れない。

磯は学生時代学校の職員でもあった。二部学生課の学割とか定期の証明書を発行する窓口にいた。学生服のポケットの所に柔道部のバッヂを付けているので怖いものなし。小さいのにイバリくさっていた。しかしあまり大きな声では云えない

いが彼のおかげで柔道部員がどれだけ助かったか。学生証を別に作成してもらって、定期を買う便宜を計ってくれたのである。目黒の合宿所から和泉校舍へ行くには本当の身分証明書で買い御茶の水から水道橋迄を別の身分証明書で買う訳だ。御茶の水、目黒間は御茶の水から水道橋迄しか定期を買っていないのでキセルである。磯は悪い職員だった。こんな事を云うと罰があたるかも知れない。ゴメンナサイ。

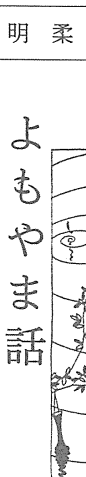
佐藤は柔道が好きで無段者で入部して来た。高校とは違い初段もあまりない柔道部でくじけず続けたのだから立派である。「サンピン会」の時、滝本と佐藤が、はじめて顔を合せた。たまたま佐藤は滝本の自宅近くでガソリンスタンドを経営している。先に少し酒が入っていた滝本は「お前なんか知らない」佐藤も「おれもお前なんか知らない」二人共大学の時でも顔を合せた事がない。同期と云えども本当に初顔合わせで二人は喧嘩になってしまった。その二人が今は仲直りしてとても仲がよい。滝本の妹がやはり自宅近くの寿司屋に嫁に行っているが、佐藤はこの寿司屋の上得意だったのである。滝本が妹の為折れなければならなかったのである。

「サンピン会」では自慢話しやら失敗談や人の悪口が出て来たが、時には酒の勢いで喧嘩もある。しかし又今度はいつやるか、と皆が楽しみにしている云でもある。全国にいる同期の皆さん連絡下さい。ご案内致します。



S三十二年春

新井 重之	波多江健一
丸山 彰治	小林 基甫
五島 辰光	山崎富士夫
佐々木榮次	本間 龍吉
屋島 慎也	安達 秀則
網中 高村(旧姓松元)	高村(旧姓松元) 秀翁
磯 有志朗	浅野 鉄郎



強くなりた

運動選手にとって栄養補給は大切な事であるが、食糧事情が違っていたせいか、昔の部員は今の諸君より「栄養をつける」という事に真剣であった。

例えば、黄金時代の業師で学生時代から紳士然とした渡辺政雄(二十九年度)は力をつけるため時々マムシを食べた。江戸っ子の食いものではないと思ったが、マムシは絶対力がつく、ときかされると食べない訳にはなかったそうだ。

逆に力にならないものは一切食べない、と云って、コンニャクや海草類、また大根の様な筋力やパワーをつけるのに役立たない?ものは意識して食べなかったのが二十九年の学生チャンピオン、上野武則である。

昔、花桐、いま??

あるが、渡辺にしても上野にしても柔道一途に生きていたのがよく解かる。

大正時代に活躍された花桐清一郎先輩は、伝説的な怪力の持主だった。

彼は力をつけるため、今で云うトレーニングを欠かさなかったが、外出する時は、いつも六貫目(約二〇キロ)の鉄のカタマリを風呂敷に包んで持ち歩き腕をきたえたそうだった。包は厚手の本を二、三冊重ねた程の大きさだったから、軽く小わきに抱えている様子から誰も、それが鉄のカタマリとは思わなかった。

ユーモアのセンスがあった花桐は他家を訪ねた時、帰り際にこの包を玄関のききに忘れたフリをしたものだ。送りに出た家の婦人たちが「オヤ、お忘れもの」とこれを持とうとするがピクともしない。そこですかさず「ヤドウモ」と、それを片手でつまみ上げ

上野が食べなかったこれらの食品がいま、まったく別の意味から健康食品とされているのは皮肉である。



悠々と玄関を出るのだが、皆のあきれ顔が愉快でたまらなかったそうだ。これは実話であるが、戦前も大正時代の話である。

戦後も、柔道部から、ホイと重量挙げの大会に出て、アッと日本新記録をさし上げた丸山彰治(三十二年)の様な正統派の力持ちから蓬来敬(四十九年度)や、加瀬次郎(五十一年度)の様な異色の力持ちまで役者にはコト欠かない。

洗濯の名



稽古以外の雑用におわれる下級生の忙しさは昔も今も変わらない。だが、昔の下級生の大事な事の一つであった稽古着洗濯のつらさを今の学生は知らない。電気洗濯機様のおかげで

神水正夫（三十八年度）は一年生の時、上級生から稽古着洗いの名人といわれた。腰をいじめて稽古の出来ない彼は、来る日も来る日も風呂場で洗濯係、多い日は一日十着以上も洗った。はじめのうちは目茶苦茶にやっていた様だが、そのうち手順もすっかりして、表裏をタワシで目に添って手早く入り、角にたんで足でふむ、それを皆がくすり、つた浴槽につつ込んで、もみ出し、水洗いを仕上げる。

からだを売った話

昭和三十年の話である。三十三年度の同期、伊藤彰朗と作田順二が下宿生活をしていて、作田が伊藤のところへころがり込んだという事らしい。この下宿の近くにある年増が住んでいて、なぜか作田が可愛がられた、た

風呂好きキンちゃん

明大中野高校にF君という少年がいる。身長一九二センチ、体重一五〇キロの超大型である。

ぶん作田の出た盛進商業が寝技の学校だったからだろう。

昭和三十年といえば戦後の余韻がまだ残っていた頃で、今から見ると食糧事情もよくなかった。

そこで作田は彼女のところへ出かけていった。米だの野菜だのを調達してくる。もちろんタダではない。作田にしても相手に美人タダではない。作田にしてみても「オハさん」毎日の練習で疲れてもいるから、度々のごんじになると二足のふんどしをしよう。しかし家主の伊藤は容赦なく、「サク、米がないぞ」「たまにはうまい物を買ってこい」とやる。

●

作田はうらめしそうな顔をして「またか——」と云ってシブシブ出かけて云ったとか——。

男が体を売って食べ物かせいだという昔話である。

作田はいま協立証券(株)の重役、伊藤は泉屋製菓(株)社長である。

糖尿病の運動療法

青年期に選手生活をおくり、その後スポーツと縁を切ってしまった運動部出身者は糖尿病にかかるケースが非常に多いとされています。

その原因についてはいろいろ云われていますが、我々明柔会のＯＢたちもこの例にもれず体調をくずしているという報告をたづねると多くの人が根本に糖尿病をかかえている様です。

自覚症状がないまま静かに進行する糖尿病は気がついた時はすでに手おくれで重大な合併症をおこしているケースが多く、悪化すると生命にかかわる実に恐ろしい病気なのです。

しかし、我が渡辺OBの様に食事に運動に患者としての生活をコントロールしていける

人にとっては社会生活にあまや影響をおよぼさない病気の様です。現に印刷業(柳勝堂の社長として東奔西走の氏は週二回はグリーンを回るシングルハンドリーのプレーヤーでもあります。我々編集部にとって実に頼もしい先輩であります。

十一月は「全国糖尿病週間」であったことから学生時代柔道部で活躍した名古屋大学病院の知人から資料をよせてもらい運動療法を中心とした治療、予防の仕方をレポートする



病気で。

糖尿病は主だった自覚症状がなく進行するため気がついた時にはかなり病状が進んでいる事が少なくありません。「自覚症状がないのをい事に血液中の糖の値を長い間高いままにしておく」と必ず合併症が現れます。主な合併症は毛細血管の異常から目（網膜）や、腎臓や、神経に障害をきたし、また動脈硬化の進行も普通の人より早いのです。失明の危険が高い「糖尿性網膜症」腎不全をひきおこす「糖尿性腎症」末梢神経障害や排尿障害の自律神経障害がおこる「糖尿性神経障害」の三つは「三大合併症」といわれています。

糖尿病で直接死ぬ人は減ったが合併症で死亡する人は非常に多く中でも「糖尿性腎不全」による死は「糖尿病患者の死因のトップ」になっています。この「三大合併症」が全部現われるケースも少なくなく高血糖状態が十年、二十年と続く、目も神経も腎臓もすべてやられてしまいます。こうなったら社会復帰は絶望であります。

こんな悲惨な状況にならないためには先ず血液中の糖を減らすことです。血糖のコントロールがうまくできれば合併症は防げるのだ

から、なるべく早期に病状を見つけて対症することが第一です。治療法は「食事療法」「運動療法」「薬物療法」が三本柱で、このうち薬

物療法は医師の処方にしたがう訳ですが「食事」と「運動」は医師の指導にしたがいがくも本人の努力が必要となつて来ます。

薬をのむと確実に血糖値が下がるので食事療法や運動療法の手を抜く人がいますがこれが最もいけない事で、治療の原則は栄養をバランスよくとりながらカロリーオーバーにならないこと。それに適当な運動。これに尽きる訳で「食事療法」と「運

エネルギー量の計算方法

日常生活時のエネルギー消費量

(日本体育協会スポーツ科学委員会)

項 目	補正係数	項 目	補正係数
睡眠	0.0170	掃除(はく、ふく)	0.0676
食事	0.0269	" (電気掃除機)	0.0499
食支度	0.0287	洗濯(電気洗濯機)	0.0410
歩行(普通)	0.0570	" (手洗)	0.0587
散歩	0.0464	" (干す、とりこみ)	0.0587
階段(のぼる)	0.1349	" (アイロンかけ)	0.0464
" (おろる)	0.0658	ふとんのあげおろし	0.0818
乗物(電車、バス立位)	0.0375	裁縫	0.0287
自転車(普通)	0.0658	教養(読書など)	0.0233
自動車運転	0.0287	趣味・娯楽(将棋など)	0.0287
休息・談話	0.0233	机上事務	0.0304
入浴	0.0606	買物	0.0481
炊事(準備、かたづけ)	0.0481	草むしり	0.0552

エネルギー消費量(キロカロリー/キログラム/分) = 補正係数 × 体重 × 分

せん。

アメリカの空軍病院の研究によると健康な人でも三十五日間絶対安静の状態を保てば食後の血糖曲線は糖尿病のバターンを示すが、自転車のペダル運動をベッドの上で二十分間一日三回行えばこれを防ぐことが出来るとされています。また日本のデータでも未治療の「非インシュリン型」患者の一日平均歩数は三八〇〇歩という運動不足の状態にあることが示されています。

運動療法の効果

運動には全身を使う動的なもの、また、じっとして筋力をつける、例えばエキスパンダーの様なものなど様々な種類があります。同じ動的なものでも、ゆっくり歩くのと全力で走るとでは体内に及ぼす影響が違ってきます。自分が何の様な運動を選ぶべきかは、それによって何の様な効果を期待するかという目的によって異なってきます。

糖尿病の治療を目的としての運動を考える場合期待できる効果として以下のものが上げられます。

(一) 末梢組織のインシュリン感受性を改善してブドウ糖の利用度を増す、すなわちト

レーニングはインスリン効果を強める。
(二) 「食事療法」との併用により筋肉の喪失を少なくし、からだの余分な脂肪を減少させる。
(三) トレーニングは体力をつける。
(四) 脳神経機能に活力を与え、老人ボケを防止する。

(五) 脂質代謝をよくし、動脈硬化を防ぐ作用のある善玉コレステロール(HDLコレステロール)を増加させる。
以上の他に間接的な効果として、トレーニングはストレス解消に役立ったり、規則正しい生活を習慣づけることにもなります。

規則正しい生活につながる運動療法

患者の内とくに肥満の人では末梢神経においてインシュリンが作用しにくい事(感受性の低下)が主な病態となります。

しかし、これは低カロリー食と体重減運動によって大巾に改善できます。運動によってインシュリンの感受性がよくなることは、少量のインシュリンで食べたものを栄養として処理できることになり、インシュリンを分泌する膵臓細胞の負担を軽減することに繋がります。そうすれば膵臓のインシュリン分泌

安静はなぜよくないのか

人間の健康生活を維持するには適度の運動が必要であり極端な運動不足や安静の害はこれまでも繰り返されて来ました。これは何も糖尿病に限ったことではありません。

細胞を保持させ永年正常に近い代謝状態を維持することが可能になります。

運動によって筋力がつき心肺機能が強くなり体力が向上することは糖尿病患者に限らず、すべての人にとっての願望です。運動療法を通じて計画性のある毎日を営むことは知らないうちに規則正しい生活が習慣づけられる事になります。

以上の様に患者が運動の効果を引き出し持続させるには、運動の種類、質、量、強度、頻度が問題となってきます。

運動の種類（好ましい全身運動）

体を動かす機会が日常生活の中にいくつてもありますが、糖尿病に対する効果を期待するならば、なるべく全身を使う運動が好ましい。

その理由の一つはインシュリンの感受性の改善は運動に使用した組織に限られるからです。また、心肺機能を含め体力増進には全身運動がよりすぐれている事も確かです。

さて、どれくらいの運動量を適切な運動療法の目的とするかは非常にむずかしい問題です。スポーツ選手の様子上達することが目的でなく糖尿病療法の一環として考える場合正に

ケースバイケースで多すぎてもいけないし少なすぎても効果がありません。そこで先ず必要なのは運動療法をはじめる前に、現

在日常どのくらいエネルギーを消費しているかを知ることです。

そしてひとまず消費エネルギーの十％から

運動交換表

運動の強さ	1単位あたりの時間	運動（エネルギー消費量、 カロリー／キログラム／分）
I 非常に軽い	30分間ぐらいつけて1単位	散歩 (0.0464) 乗物（電車、バス立位）(0.0375) 炊事 (0.0481) 家事（洗濯、掃除）(0.0471～0.0499) 一般事務 (0.0304) 買物 (0.0481) 草むしり (0.0552)
		歩行（70メートル／分）(0.0623) 入浴 (0.0606) 階段（おりの）(0.0658) ざうきんかけ (0.0676) ラジオ体操 (0.0552～0.1083) 自転車（平地）(0.0658)
II 軽い	20分間ぐらいつけて1単位	ジョギング（軽い）(0.1384) 階段（のぼる）(0.1349) 自転車（坂道）(0.1472) 歩くスキー (0.0782～0.1348) スケート (0.1437) バレーボール (0.1437) 登山 (0.1048～0.1508)
		マラソン (0.2959) なわ飛び (0.2667) バスケットボール (0.2588) 水泳（平泳）(0.1968) ラグビー（フォワード）(0.2234) 剣道 (0.2125)
III 中等度	10分間ぐらいつけて1単位	
IV 強い	5分間ぐらいつけて1単位	

（注）1単位は80キロカロリー相当です。

運動種目別のエネルギー消費量

（一部日本体育協会スポーツ科学委員会）

項 目	補正係数	項 目	補正係数
散歩	0.0464	遊 泳（平泳）	0.1968
歩行分速（60m）	0.0534	“（横泳）	0.1614
“（70m）	0.0623	卓 球（練習）	0.1490
“（80m）	0.0747	バドミントン（練習）	0.1508
“（90m）	0.0906	スカッシュ（練習）	0.1615
“（100m）	0.1083	テニス（練習）	0.1437
ジョギング（軽い）	0.1384	ゴルフ（平均）	0.0835
“（強め）	0.1561	スケート（練習）	0.1437
リズム体操（普通）	0.1472	歩くスキー	0.0782～
ジャズダンス（普通）	0.1517		0.1348
体 操（軽い）	0.0552	剣 道（かかりげいこ）	0.5631
“（強め）	0.0906		0.1968～
ダンス（平均）	0.0578	柔道試合	0.3030
自転車毎時（平地10km）	0.0800	重量挙げ	1.5774～
“（“15km）	0.1207		1.8606
“（登坂10km）	0.1472	バスケット練習試合	0.2588
“（“15km）	0.2602	バレー（練習）	0.1437～
“（降坂）	0.0269		0.2499
階段昇降	0.1004	サッカー（練習）	0.0853～
素振り（バット）（平均）	0.2641		0.1419
遊 泳（クロール）	0.3738		

エネルギー消費量（キロカロリー／キログラム／分）＝補正係数×体重×分

消費エネルギーを知る （市販の器具を利用する）

一日の消費カロリーの計算は大切なことですが実際は複雑で面倒な作業です。これでは運動療法に入る前にいや気がさしてしまううもでてくるでしょう。

そこで手っ取り早い方法があります。これは市販されているカロリー表示器、もしくは万歩計を使用することです。これは体に器具をつけて運動量を表示させるものです。カロリー表示器（スズケン（株）製のものは表示されたカロリーを消費エネルギーとして考えます。万歩計の場合は直接消費エネルギーに換算出来ませんが今までの日常歩数を基準し三十％～四十％の増加となる様に歩いてみて、さらに目標歩数を増すごうから入って行きます。

歩くことは確かによい

調査データでは一般事務系の人で一日五千

歩前後、比較的よく歩く人で一万歩までとされています。

肥満の人はこの歩数も少ない傾向にあるり、一万歩を達成するにはやや努力しなければ

具体的な運動スケジュールの例

45歳の男性 身長 167センチメートル、体重 70キログラム

消費エネルギー 2,400キロカロリー（カロリーカウンターあるいは生活行動表）
運動療法：2,400キロカロリーの10パーセントとして240キロカロリー（3単位）
食事療法：週1キログラムの除脂肪を期待し、1日1,000キロカロリーのマイナスをつくる
 $(2,400 + 240) - (\text{食事カロリー}) = 1,000$
食事カロリー = 1,640キロカロリー

運動スケジュール

ウォーミングアップ ——— ジョギング ——— クーリングダウン

準備運動
5分間
(0.25単位)

20分間
(2.5単位)

整理運動
5分間
(0.25単位)

- ・これを朝、夕にわけておこなうのがより好ましい
- ・ジョギングの強さは中等度、つまり脈拍で1分間に120前後とする
- ・（途中で脈拍を測定してみる、また年齢でも異なる）

糖尿病と一生つき合う工夫を

糖尿病は一生つき合っていかなければならない病気ですが、つき合う相手を正しく理解していれば快適な一生を送ることも可能です。丁度夫婦や恋人の様な間柄なのかもしれません。そしてその橋渡しをしてくれるのが運動だとすれば、義務と考えるのではなく、自然に生活の中に溶け込んだ楽しいものでなくてはなりません。自分から楽しく感じられるものならばそのために時間を作るのは容易であり、知らないうちに生活に溶け込みます。

また運動が体を動かすものであるとするならば、生活の中に数えきれないほどの運動をする機会があることを理解するのも容易です。運動療法としての運動量のきめ方、強さ、頻度についてまた次号で述べることにします。

（次号につづく）

明柔人志記

宮城県

四月のある日、八十三才で亡くなられた林道夫先輩の御遺族から部へ寄付金が届けられた。先輩の一周忌を記念してとの御挨拶が添えられていた。

名簿でお名前と仙台の御住所を確認しながら、青春の志を抱いてこの駿河台で迎えられた、先輩の若き日と時代に思いをはせた事であった。

林道夫（昭和四年度 旧姓武田）は仙台出身、東北中学（現東北高校）から明大柔道部に進んだ第一号である。林 以後昨年卒業の秀島裕まで東北高校から明柔に進んだのは十八名を数える。この数は明柔部出身の三分の二にあたる。

さて、明大柔道部とパイプの太い県と云えば、東京を別にするところ



八島

柔道部とパイプの太い県と云えば、東京を別にするところ

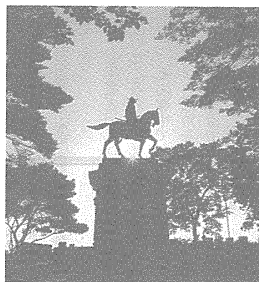
福岡で、ついで、広島、熊本、宮城、鹿児島となる。

宮城は鹿児島と数の上ではほぼ同数であるが、鹿児島が三十年代半ば以後卒の若手が中心となっているのにくらべて宮城は大正二十一年度の鈴木潔治から今日まで年代的な偏りがない。

明柔宮城は現役時代のキャリアが揃っている点で屈指の県だが、明柔会活動の面でもその節目、節目で活躍した人材を生んでいる。明柔会を創設した、鈴木潔治、戦後いち早く部を復活させた八島輝徳、現明柔会の推進役神永昭夫などである。

鈴木潔治（大正十一年度）は仙台出身、卒業以来、明大柔道の発展に尽くしてきたが、昭和五年、本館地下に道場が新設されたのを機に発起人代表幹事となって明柔会を結成した。

八島輝徳（大正十一年度）石巻の出身、鈴木らと共に明柔会を立ち上げて来たが、終戦後



政宗公騎馬像

学校柔道禁止の中で、外地より復員した部員をまとめ明大柔道クラブを発足させた功績は大きい。結成時のクラブは大学以外に練習の場を求めて転々としたのだから、他校に二年も先じた部の再建であった。

二十五年の学校柔道解禁にあたって、八島は東京学生柔道連盟の会長に就き学生柔道の発展に貢献した。

冒頭に紹介した林道夫（昭和四年度）は仙台の生れ、永年地元で運輸関係業界の理事者をつとめた。八十才を越して悠々自適の生活に入っていたが昨年没した。

林からしばらく間をおいて村山要（十一年度）が県北の栗原郡から出ている。一迫町の

生れ築館中学から明大に進んだ。卒業後、満州に渡り満鉄に勤務。学生、社会人を通して活躍した。九十キロを越す当時としては大型選手であった。

村山は戦後、郷里に帰り栗原農高で教鞭をとりながら県下の柔道指導にも尽くした。余談ながら酒仙の風格をたどらせる稀に見る酒豪でもあったという。

村山の出た昭和十一年前後は明大柔道部戦前の黄金時代で多士済々の部員を擁していた。



神永 (昭)



神永 (正)

宮川周蔵 (三十三年度) もこの時代の神で仙台出身、東北中学出である。宮川も村山と同様六尺(一八二センチ)に近い大型で立技、寝技もよくした。明治では主将をつとめ現在の

全日本学生選手権大会にあたる明治神宮体育大会学生柔道選手権大会で三位になっている。

また、昭和十一年の第二回明大柔道部アメリカ遠征のメンバーでもあった。県庁に勤務し四十年まで東北高校を指導した。戦前のOBは天野新助(十六年度)で、天野も宮川と同じく仙台出身、東北中学出である。永年に亘って宮城県警の師範を務め、斯道の発展につとめた。

戦後、最初の明柔宮城県OBは佐々木一(二十二年度)である。佐々木は登米郡の出身、頑健な体躯の持ち主ながら卒業間もなく白血病で没している。

続く三十三年度の神永昭夫から東北高校出身者が明柔宮城の主流となっている。

神永昭夫(三十三年度)は全日本選手権、三回優勝など、そのキャリアは一世を風靡した。今年六月、柔道界の内紛終結を受けて全柔連専務理事に推された。明柔会活動の推進役



飛鳥

た。今年六月、柔道界の内紛終結を受けて全柔連専務理事に推された。明柔会活動の推進役

生れは奥南の巨町。近年、伊達藩仙台の歴史や人間がドラマ化されてNHKの金盃ネットに乗ったが(樫の木はのこった)山本周五郎―伊達正宗―山岡宗八―巨町もその時代に逆のべれば浜街道の要路として来えたところで伊達氏の支藩、亘氏が居城した。

佐藤等二(三十八年度、安斎奏人 四十三年度)もこの辺りの出身である。佐藤正武は柔道をはなれて久しいが酒の力は落ちておらず、いぜん現役、村山(要)、神永(昭)、となら

佐藤 (幸)



んで明柔、宮城三酒豪の一人、との評が専らである。

佐藤幸二も東北高校出身、四十二年の全日本で三位になつてい

る。卒業後、旭化成に入社したが後に宮城県警に転



安斎

じ指導者となっている。未だ実力十分で機動隊の現役と十分積出が出来るという。その大内刈は一級品であった。

次の安斎奏人(四十三年度)も佐藤等二と同じく実業団(クラレ)から宮城県警に移っている。これも同様に安斎もまた四十五年の全日本で三位になっている。

彼も高校は東北高校で巨町のとなり岩沼市の出身。現在は県警を退き、郷里で家業(寿司店、レストラン)にはげんでいるが、円熟期に現役をあっさり退き惜しまれた。

東北明柔会の幹事役、飛鳥義経は三十九年度、本籍は岩手県いが仙台の出身といつていいだろう。東北高校の出でキレのよい背負投を持っていたが膝に持病があった。しかし四年生時にはマネジャーとして四連覇達成に貢献した。現在、東洋醸造(株) 仙台支店の部長職に在る。



佐藤 (康)

明柔会のみならず、講道館でも海外指導のプロとしてきこえてい

る富田弘美も宮城県の出身

的存在、今もしばしば明大道場に顔を見せ稽古もする。新日鉄建築都市開発事業部副事業部長

三十三年度にはもう一人気仙沼出身の伊藤毅一がいる伊藤はケガで途中退部のかたちとなったが高校時代は神永と共に団体に出場し宮城県を二位に導いた。

神永昭夫の妻弟神永正夫は三十六年度の部員であるから兄昭夫が主将の時の一年生である。

それだけに苦労があったと思うが四連覇がスタートした年のレギュラーで活躍した。現在、東洋醸造(株)富岡支店長をつとめている。本年の柔道部セレクションに長男の洋一君(仙白三郎)が参加したが楽しみにする事である。兄弟の次は父で村山要の息子村山秀之(二十七年度)が栗原郡の県立若柳高校から出ている。

三十七年度と云えば四連覇に向かつて幕進していたところで実力部員が目白押し時代であった。そんな中で村山は内股の足技にサエを見せながら頭角を現わすことが出来なかったが正統派の柔道であった。現在、NTT東京に勤務、新宿、経理部次長。

同年の佐藤正武(二十七年度)も東北高校、

である。年代が前後したが高田は四十年度の部員である。卒業後、間もなくボートランドに渡り、ナショナルチームを育てるその後カナダで教え、今はカリブ海の島国、プエルトリコに在ってサンファン大学の教授になっている。時々選手をつれて帰国するが大学道場には必ず顔をみせ稽古をして行く、また郷里にもその都度帰っている様だ、富田の生れた角田市は福島との県境にあり昔は多分磐城の側であろう。彼ははじめ地元、県立角田高校に入ったのだが、柔道を見込まれて東北高校に移った。

年代順では安斎の次になるのだが、マネージャーだった佐藤康夫(四十四年)は現在、仙台で家業の機工所をやっている。東北高校、仙台出身。明柔宮城のメンバーは他府県にくらべて多くが地元へ落着いている、とくに、若手OBにその傾向がある、その中で青木則雄(四十六年度)は卒業後三菱重工(株)に入り、現在名古屋に住んでいる。昨年の全日本団体選手権大会(名古屋)で会場に顔を出したが、すっかり名古屋に落着いてい

る。神永兄弟、佐藤(幸)、飛鳥、安斎、熊谷

(雅)らもういぶい機だが、この中で学生時代に〇〇キロを越えていたものはいない。五十一年度の相沢都夫は入学時に二〇キロを越す巨漢であった。六十一年度の秀島高これを越す巨漢であったが、比較的大型が揃っている明奈宮城の中でも、学生時代に二〇〇キロを越していたのはこの二人だけ、ともに東北高校、仙台の出身。相沢は卒業した年、全日本選手権に出て来て好い試合をしてきたが、その後首沙汰がない。まだ老け込む年ではないのだから、もうひとふん張りしてもいいものだ、県警勤務。



熊谷 (雅)



秀島

五十三年の
榎田裕と五十
七年の山内秀
人は、地方人
の出身であ
る。榎田は県
北、古川市の
生れ高校は地
元の県立古川

高校を出ている。東北人らしく色白で温和な青年だったが、きびしい左の内股を持っていた。事情がゆるせば卒業後もしばらく中央でやらせられた選手の人である。現在、古川市で整骨院を開いている。
山内秀人はホヤやウニの産地で知られている気仙沼線志津川の出身、高校は県立志津川高校、現在、東京都内の薬品会社に勤務しているが、数少ない東京在住の明奈会宮城県OBの一人。因に在京の宮城県OBは、神永



熊谷 (好)



相沢

最後は「ささにしき」の産地で有名な加美郡出身の三名を紹介して終りとする。中野田の熊谷雅之(五十八年度・好昭(六十一年度)兄弟と色間の

早坂久永(五十九年度)である三者とも東北高校出身、熊谷兄はいま母校の東北高校で教鞭をとっており柔道部指導にもあたっている。弟は中新田で家業(レストラン)に精を出している。
迫力の点でいまだ一だったがキチツと組んで勝負する東北高校スタイルの典型だった早坂は仙台に在って百貨店エントリチェーンに勤めている。無口な男だったため売り場に出ているのならやや心配だ。

毎度この稿で述べている様に、わずかな人間の集まりを見て、その土地柄が解る客がない。風土の気質、性格、思考法、というものは個々には極くわずかながらないのだから、地理的な現在で数十万、歴史的つながりで数百万、集まってはじめて地域的特徴や県民性が凝成される。
したがって少数数の集団を語る我々の人國記に風土性を含めるのは無理である。しかし文をおもしろくする為、こじつけにならない程度に共通するヒッカカリを毎回さがしているのだが、宮城OBには意外とよくそれが見つかった。
明奈宮城の会員に共通する特長(一)、小さい人がいない事である。二十七人も集まる

と、今でいう軽量級が三人や四人いるものだが、戦後派で「ばん軽量だったのは富田、佐藤(康、あたりかと思うが彼等とて七十五キロ近くはあったと思う。戦前の六人にしても当時の日本人の平均体格から見れば抜群の体格であった。
(二)、この様に大型が揃っていたせい、また、東北高校カラーのためなのか柔道がみなよく似ている。一言で云えばオーソドックス柔道で、チ・コマカしたスタイルは一人として見当たらない。この点、ささきまなタイプを生んでいる広島とは好対称である。
(三)、どこかソソリとした風采もみなよく似ている?ここまでいけば少々コジツケか。さて、毎回人国記でふれている、地域的一般的な県民かたきみたいなことは今回書かない。

全国の明奈会員も見たであらう、例のドラマに登場した、原田甲斐や伊達正宗の人形像が好くも悪くも宮城県人の風土の氣質を現わしていたと思うからである。

(この稿おわり)

タール製品製造販売

四国商事株式会社

〒165 東京都中野区西月1丁目15番12号
電話 3336615664・76195

浜本 義典 (51年度)

ボタン・服飾附属

鈴木商事有限公司

鈴木 強 (46年度卒)

足利市八幡町 82-12
電話(0284) 24616-4617

広告総合代理店

新聞、雑誌、テレビ、ラジオ広告取扱
CM、デザイン製作、アイディア商品
各種ノベルティ開発販売、市場調査、
コンサルティング業務

雄和企画株式会社

代表取締役 田中 章雄

東京都港区東新橋 1-2-11 三陸ビル

電話(03) 572-2737代

輸出入・国内取引
鉄鉱石・その他鉄鋼原材料の輸入及び
鉄鋼製品の輸出

東南貿易株式会社

社長 根本 静夫

千代田区大手町 2-6-2 日本ビル 6階
TEL (279) 2771-5

名古屋出張所 愛知 名古屋 栄 1-1-1
名古屋駅前西側センター TEL. 0566 930 5188
八幡出張所 福岡県北九州市八幡区北町1番地3
福岡駅前ビル TEL. 093 821 0300-2
若手出張所 千葉 船橋 津田 栄
丸の内丸の内ビルディング内(丸の内ビルディング) TEL. 0432 121 1014
大分出張所 大分 大分市 大分駅前ビル TEL. 0972 360 3045
広島出張所 広島 広島市 中区 本町1丁目 TEL. 082 241 2591
大阪出張所 大阪 大阪市 西区 1-1-1 TEL. 06 440 1296-7

私の身上書

質問

- ①ある日の朝昼晩は?
- ②身長、体重、健康状態、血液型
- ③今の会社(職業)に入った動機と年月日
- ④最近読んだ本。その感想
- ⑤今、言いたいこと
- ⑥自分の顔について
- ⑦一ヶ月の小遣いと使いみち、年収、趣味
- ⑧嫌いな女性のタイプ
- ⑨十年後のあなた
- ⑩老後はだれににめてもらう



日本公団施設協会副会長
明柔会会計監査役
(株) 誠和 代表取締役
高田 誠之助
(36年度卒)

①朝「プロテイン・コップ一杯、栄養補助食(ゴタミンA.C. E.カルシウム) 朝鮮にんにく、果物(柿、りんご、キウイ)

昼「ささぎそば大盛

晩「湯豆腐、刺身、生野菜の盛合せ、いわしのつみれ汁、ビール一本、水割り七・八杯

②一七〇cm 七十八kg、健康良好、A B型

③昭和四十六年個人創業、昭和四十八年株式組織にする。オーストラリア(都市公団)をクリエイトする埋蔵量が豊富な木曽石との出会いによる。欧米諸国の都市に比較し一人当りの緑の占有率が低い我が国にも財政が豊かになれば必ずや環境整備の時代が到来するだろう、政策的にも建設省都市局公団緑地課にて具体的な動きがあったから。

④ポール・ケネディ著「大国の興亡」著者が最終章で二十一世紀への展望を試みている。初めヨーロッパで形成された世界で優位を占めるに至った世界が米ソ兩超大国の支配する二極世界で動いてきたのが近代の歴史の流れであったが、いまやそれが米国、ソ連、中国、日本、E.C.の五極から成る世界へと向かいつつある、その五極間の生産のバランスは米・ソ、さらにE.C.から日本、中国へと移りつつある。

二十一世紀の世界とそこにおけるわが国のあり方を考えるうえで示唆に富むものであった。

⑤国情の違いとはいえ中国人管理者の仕事に対するバランス感覚のなさに閉口している。

- ⑥小企業ながら国際的に事業を展開している私にとって国内外を問わず信頼される顔になりたいものです。
- ⑦三十万単位 大半が飲食代、趣味は飲食、ゴルフ、読書、テレビ観賞。
- ⑧私の周囲には特にいません。
- ⑨まだ現役で元気に頑張っていると思います。
- ⑩今のところ現実感なし

各種ウエス 工業用クリーニング
安全用具一式

(株)立花商店

代表取締役
立花 敏明
(34年度卒)

〒720 広島県福山市港町2-77
TEL 0849-23-0180

東京都中央卸売市場大森市場
海老、塩干加工品問屋

海老晃

(31年卒)
代表取締役社長 滝本 満治

本社 東京都大田区大森本町2丁目2番10号
電話 (764) 2876

FASHION SHORTS PILOT HOUSE

株式会社 **アリス**

代表取締役 佐々木 充行
(41年度卒)

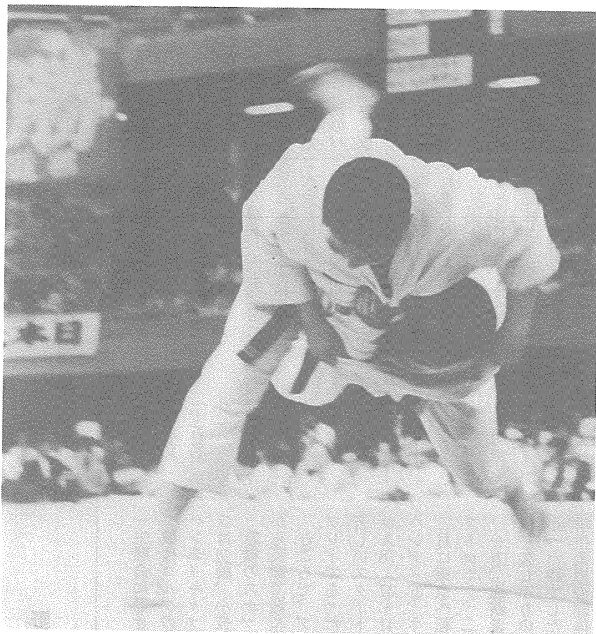
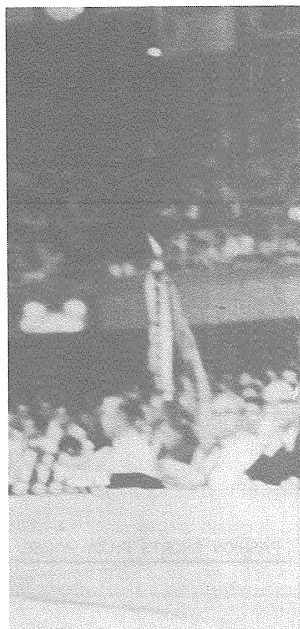
東京営業所 〒103 東京都中央区日本橋久松町13-5
和孝第6ビル5F
TEL (03) 667-1666 番
テレファックス (03) 667-1668 番
本社 〒779-36 徳島県美波町大字新町802番
TEL (08835) 2-1138 番 内
〒541 大阪市東区安土町11-22-1
プライムビル3F-302 4F-402
TEL (06) 264-6285 番 (直通) 内
大阪営業所

大の明
技(12)

河原月夫の内股

相手を量(大地)から空中に投げとばす技の醍醐味、この素晴らしい言葉では言い表すことの出来ない、柔道人のみが知るロマンである。野球で言えば、ホームランの味であろう。

ければならない。
得意技は、千日、万日の稽古、研究をしなければ身につかないものである。柔道の技は、崩し、作り、掛け、の三要素を一連の動作で示すことにより成立させるものである。私の崩しの原点は、相手を爪先立ちにさせることである。



学生優勝大会で

崩しは、自己と相手との力関係を利用することが基本である。例えば、図でBとCが同じ力で引く張ればAは垂直に下方に向かう。自然体でいる人間の身体に前から力を加えれば、その人間は後に倒れまいとして両腕を前方に伸ばす、反対に、後から力が加われば後方に両腕を出す。崖に立ったつもりになるとわかりやすい。

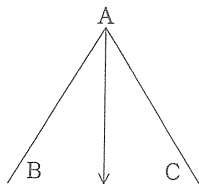
理論と実践を常に頭に置き、反復練習を重ねてこそ技の向上がはかれる。特に瞬発力の重要性を認識し、その養成に努めることである。

その人、その人に合った技を創意と工夫をもって研究すれば、必ずや一本を取れる素晴らしい技が生れる筈だ。

私の得意技の一つに「内股」がある。少年時代からの得意技であり組手などにずいぶん工夫をこらしてきたが最大のポイントは、相手のスタンスの広さ(長さ)を一边とした正三角形の頂点にその重心をもっていく崩しにしている。

創意の創は、生み出す意味もあるが絆創膏

の創、すなわちキズとも読める。私も自信をもって掛けた「内股」を何度も返されたりすかされたりした。しかし「不入虎穴不得虎子」である。思い切りのない技は上達しない。



ジャンボ北瀬が優勝 第三十六回明柔会ゴルフ大会

野坂 良雄（昭和三十九年度卒）

昭和六十三年度の明柔会ゴルフ大会は三十八回目を迎へ、去る十一月二十四日（木）、関東の名門コースとして知られる立野クラシック・ゴルフ倶楽部（千葉県市原市）で、二十五名の参加者のもとに盛大に行われました。

今大会は常任幹事として過去、大会運営に貢献し活躍をしてくれました。鈴木愛忠君（昭三十九年卒、去る九月二十二日他界）の追悼ゴルフ大会となりました。

プレー終了後のパーティに先立ち、岩田幹事の計らいで、鈴木愛忠君を偲び「黙祷」を捧げた。神田和夫先生より開会の辞にあたり、「今朝の雨は鈴木君の涙雨であったのだろう。しかし彼は雲一つない快晴にしてくれ、今日の皆さんのプレーを存分に楽しませてくれました」と鈴木君を偲ぶ追悼のことはをいただきました。

鈴木愛忠君は常任幹事として、今大会の名門コース手配すべく、立野クラシックの姉妹コースである姉ヶ崎カントリークラブのメンバーである同期の開勝治君に、「今回は立野クラシックで開催したい、是非手配して欲しい」と、八月頃より

一生懸命に働きかけてきたものであった。彼はゴルフの腕前もシングル級であり、当明柔会ゴルフのハンディキャップは12で、あの腹打ちと称するロングドライブは勿論、小技も安定した名ゴルフファーであった。

新橋のスナック・すばきに行けば、何時もカウンターの中心から笑顔で迎えてくれた鈴木君を偲ぶ追悼ゴルフ大会でした。ところでプレーの方は、スタートの3ホール位は雨中のプレーであったため、ハイハンディ・キャップにとっては苦しいスタートであった。この中でアウトよりストレートレグロス78（37+41）のベスト・グロスを記録した北瀬一君がハンディ⑥、ネット72のバー・プレーで優勝、京都から今年二月に東京へ転勤し、大会初参加の宮信夫君のネット74に2ストローク、二馬身差で逃げ切り、優勝盃を手に入れた。

一方、遠路参加組の大坂の甲斐福男先輩（昭三十三）よりは、久しぶりの関東馬場でのレースで今一力を発揮できなかった様でしたが、挨拶の中で、来秋のゴルフ大会は全日本学生柔道の団体戦に優勝し、ハワイあたりでの優勝記念ゴルフ

フ・ツアアが組める様に上村監督に、より一層の学生指導に尽力をいただき、又、明柔会々員各位の強力な応援を期待する旨、我が明柔会発展のため力強いハッパをかけていたました。これに対し、上村監督より気合いいはった、優勝を目指す旨の応答があった。

同じく大阪組の大橋武彦先輩（昭三十四）は久しぶりの広

くて長い関東のコースを満喫されネット77の第四位でしたが、最初のハーフを39でまとめられた第三位の渡辺欣嗣先輩（昭二十九）にはやはりチョコレットは先輩に献上するもの」であった様です。

又、パーティの席上、坪先輩より、学苑会柔道部は今年も全日本二部学生柔道大会に優勝し、五連覇を達成し、今後皆様により一層の支援要請する旨の報告がありました。

明 柔 会

順位	氏 名	OUT	IN	TOTAL	HP	NET	備 考
優勝	北瀬 一	41	37	78	6.0	72.0	NP. DC.X2
2位	姿 信夫	46	42	88	14.0	74.0	DC.
3 "	渡辺 欣嗣	47	39	86	11.0	75.0	NP.
4 "	渡辺 昌照	51	47	98	22.0	76.0	
5 "	大橋 武彦	43	43	86	9.0	77.0	NP.
6 "	岩田 久和	51	46	97	20.0	77.0	NP.
7 "	神田 和夫	44	49	93	12.0	81.0	
8 "	宮下 潔	53	56	109	28.0	81.0	NP.
9 "	関 勝治	50	49	99	18.0	81.0	
10 "	野坂 良雄	42	47	89	8.0	81.0	NP.
11 "	代田 正俊	54	54	108	26.0	82.0	
12 "	甲斐 福男	48	45	93	10.0	83.0	
13 "	坪 昌二	54	48	102	19.0	83.0	DC.X2
14 "	丸谷 武久	62	57	119	36.0	83.0	
15 "	中本 義行	52	52	104	20.0	84.0	
16 "	山田 朝彦	49	47	96	10.0	86.0	DC.
17 "	村上 京杉	63	59	122	36.0	86.0	
18 "	岐島 俊隆	56	50	106	20.0	83.0	
19 "	吉井 敬吉	56	47	103	16.0	87.0	
20 "	上村 春樹	57	68	125	36.0	89.0	
21 "	段上 道夫	59	60	119	26.0	93.0	
22 "	片岡 清	59	64	123	30.0	93.0	
23 "	佐藤 捷治	56	59	115	20.0	95.0	
B.B	金丸 国一	65	58	123	26.0	97.0	
BM	星野 泰之	80	73	153	36.0	117.0	

競技方法：HDCP 方法



強い絆で!
BRINGING UP!



後輩に一層の支援を !!
明柔会費納入のお願い

振り込み先 関東地区会員	年間 二 〇〇〇 円	振り込み先 関東地区以外の会員
東海銀行東京営業部 店番号 620 普預 432 326 明柔会関東支部 入江秀明		三菱銀行東京駅前支店 店番号 004 普預 4216342 明柔会 吉井敬吉

(株) マヤ建装

タスキン

サービスマスター事業部

〒168 東京都杉並区和泉1-33-18 豊富ビル

TEL 03-324-8201

松田幸次 (48年度)

小 藤 田 整 骨 院

院長 小藤田勝彦
(S40年度卒)

東京都板橋区弥生町38-7
TEL 03-972-0055

大衆割烹 太 洋

橋 本 一 郎

都営地下鉄三田線 蓮根駅前
TEL (967) 9863

菓子問屋
株式会社 **ダンジョー**

代表取締役 段上秀馬

東京都墨田区本所4丁目11番5号
電話 622-9121 (代表)

中華麵 大盛軒

有限会社 小寺商事

代表取締役 村上京杉（S41年卒）

近ヶ丘ショッピングセンター IMA店 (976) 0848
東中野店 (371) 5743
江古田駅前店 (458) 7800

消防ポンプ積載車・消防用付属品一式・
消防ホース・布ホース各種・各種ポンプ
改造修理専門・各種消火薬品一式・避
難器具一式・富士ロビンラビット号消防
ポンプ・日本機械工業株式会社代理店

大協製作株式会社

代表取締役 高島 正美

本社・工場 〒670 姫路市玉手600
TEL 0792-33-0988

瀬戸内割烹 いけす料理・寿司

たか新

代表取締役 新家秀夫
(S.46年度)

本店 〒730 広島市中区流川町7-15
(むぎくらビル) TEL 082(249)7221
別館 〒730 広島市中区大手町5-3-10
(新明治橋マンション1F) TEL 082(242)8800
東京店 〒104 中央区銀座5-2-1
(東芝ビル2F) TEL 03(572)4994~5

62	60	60	60	59	59	59	59	昭和58年度卒
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	

工中今松齋古日青千

藤 西 宮 岡 藤 賀 田 野 葉

禎厚一隆峰 孝浩宏

康喜隆志章智志三之

得意技の解説

体落

私は柔道をはじめて三十年になりますが、私の得意技は小・中学校時代「背負投」、高校時代「内股」、「足払」、大学時代「体落」、「大内刈」、「浮技」といったように変化し現在に至っています。

得意技の中で、私が試合、練習等を通じて一番多く使ってきました「体落」について紹介させていただきます。しかし、一口に「体落」と言っても各人の体格、体力、腕力、体の敏捷性、瞬発力等により若干、技のかけ方も異ってきますので読者の皆様に参考になるかどうか分かりませんが、皆様の技の修得の際の一助となればと思います。

体落のかけ方は大別すると、「相手が前に出て来た時」、「後ろへ下がった時」、「横へ移動した時」の三通りありますが、いずれにも対応できるようなこの三通りのかけ方をマスターしなければなりません。私がこの三通りの中で一番多く使用した「相手が前に出て

上村 春樹

いただきます。

写真1

吊手（左手）は相手の右鎖骨のやや下を持つ。引き手は相手の左肘の横を持つ。

写真2

左足を相手右足より三十センチ前に踏み込むと同時に吊手（左手）は崩しの意味もあって左方へ少し振る。引き手は自分の目の線より上まで引き上げ、手首を返し相手を完全に

来た時」にかける体落を説明します。（技についての説明は、私の得意が左技ですので左技で説明させて

引き出す。

写真3

左足の横側へ右足をなるだけ小さく回ります。引き手は目の線まで引き上げたままにしておく。

写真2

住所変更

卒年	氏名	〒	氏名	電話
29	押切 義春	223	神奈川県横浜市港北区日吉町2-66-5	092-681-5584
36	神永 正夫		福岡市南区長住1-3-2	
46	金谷 洋志	813	福岡市東区香椎浜1丁目1-2-401	
34	小林 健児	189	東村山市本町4-3-1-101	
51	岡本 裕治	135	江東区塩浜2-5-1-705	03-640-7392
49	原 吉実	233	横浜市南区真金町2-20-5 大通り公園ハイツ701	045-253-2020
48	鳥海 又八郎	281	千葉市宮野木町66-14	0472-75-9733

新入会員

S 21	塚田 和男	長野柔道連盟理事長 葛友印刷社長 長野市大門町41	S 25卒 宮島竜治氏推薦 63年総会承認済
S 37	鹿島 悦雄	岡富士工 建築部長 練馬区南田中4-14-22	S 37卒 杉原 構氏推薦 64年総会承認予定

計報通知

S 63・7・10	S 17卒	田 渕 裕 巳氏	御 本 人 様
S 63・9・6	S 38卒	細 川 隆 夫氏	御 尊 父 様
S 63・9・22	S 39卒	鈴 木 愛 忠氏	御 本 人 様
S 63・10・1	S 47卒	加 茂 博 久仁氏	御 尊 父 様
S 63・11・14	S 54卒	中 尾 保 裕氏	御 母 堂 様
S 63・10・	S 32卒	徳 永 三 幸氏	御 令 室 様



写真1



写真3

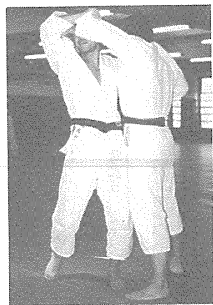


写真2

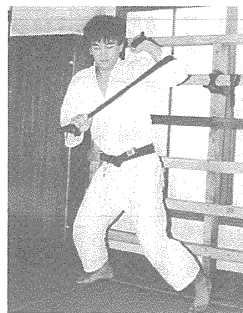


写真8

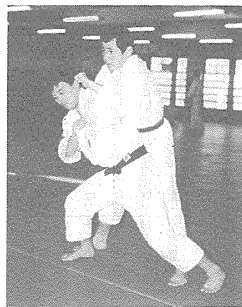


写真7

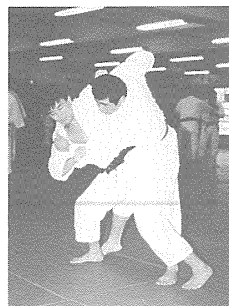


写真4A

写真4A
腰の回転力を利用して左足を相手の左足前十センチぐらにの所につき（左足の親指と右足の親指で立つような気持）、吊手（左手）は左方へ振った姿勢を利用して、手先から肘まで相手の胸を押す。（相手が自分より大きい場合は写真4Bのように吊手（左手）を入れてもよい）引き手は一気に引き降す。この時の左右の足の足の重心のかけ方は写真5のように左6、右4とし、膝は余裕を持たすようにする。この時、左足は相手の左足にふれない。
写真6
投げける位置はやや左前方に膝のパネを利用



写真9

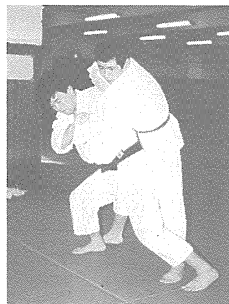


写真4B

して投げる。投げた後は、自分の体が崩れないようにする。
ここで説明したのは私が体落をかける入りの基本であり、相手の動き、組み手等に依りて引き手や、足のつき方、あるいは両足の重心のかけ方等も変化させなければならぬ。またこれに関連して、大内刈から体落、体落から大内刈り、小外刈からの追い込み（相手が下がった場合）の体落、体落からの内股等の連絡技及び写真7のように釣手を持たず釣手を相手の脇の下に入れ技を仕掛ける等の技をマスターすると、技の幅も広くなり威力を増します。

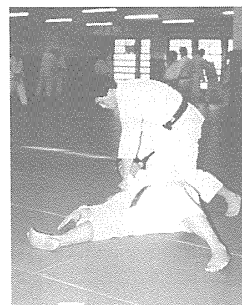


写真6

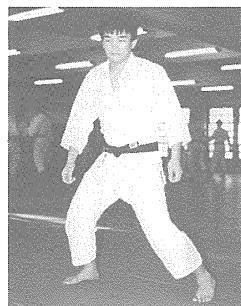


写真5

（参考）
私の体落は写真8、チューブを使用している入り方、また写真9のように自分の一番安定した格好のこの位置にチョークで印し、繰り返し、その印内に両足をもっていくといった反復練習等を行い技の安定した型、入り方をマスターしました。

（取）吉岡宏志三段
（受）松島進治二段

送電線路建設工事設計施工
高田電設株式会社



取締役社長 高田 喜之
(昭和30年度卒)

本社 東京都新宿区大久保1-10-4
電話 03(209)8241(代表)
支社・出張所 仙台・名古屋・札幌

紳士・婦人・子供
各種
帽子の ミヤシタ
(宮下光男 27年卒)

東京都葛飾区新小岩1-39-9
新小岩銀座アーケード街
電話 (651) 0691



編集後記

明大柔道部とつながらの深い高校を紹介した、「名門高校シリーズ」は北海高校からはじまって先号の鹿兒島実業高校で

大正や昭和ヒトけた卒の先輩たちの場合（多くは亡くなられておりますが）その周辺からチョットした資料を得る事すらむずかしくなっています。御当人を知る人が少なくなっているという事です。

話をせよとありますが、会報には、特に連載ものは、出身高校別に（名門校）出身地別に（人国記、年度別に（同期生））その時代に参加した人々を活字にしておきたい、という狙いがあることを御承知下さい。次号にお願いする年度はまだきめていませんが、年度幹事の皆さんは書き手をきめておいて下さい。若き日を偲ぶ「思い出の一枚」と活躍する会員を紹介する「元気でやっています」は写真のページである事から、写真効果を得るため今回からこのページをアート紙で印刷する事にしました。

会報で紹介したいという写真をお持ちの方は是非連絡下さい。

ソウルオリンピックの喧騒も、アツという間のことでした。先般ソウルを訪ねた実業団チームの人によると、五輪終了間もなくおきた、深刻な政治問題のためか、街にはオリン

ピックの余韻も残ってなかったそうです。開催決定以後のあの異常な盛り上がりさえ思えば奇異な感じもありますが、彼の国の現実はきびしいという事なのでしょう。

会報も今回は百瀬先生の巻頭言をはじめ、オリンピックにふれている記事が多い様です。道場往來のページも、オリンピック①、②、③という事で書きましたが、③の文章は腹立ちまぎれに書いたもので、上村君に迷惑をかけたかもしれません。

またまた年末となつてしまいました。いま合宿所に風邪が蔓延しています。世界学生選手権に出席する吉田も高熱で寝込んでいます。出発までまだ時間がありますので心配はしてありませんが、諸兄に於かれてもどうか御自愛の程を、では又次号で、よいお年をお迎え下さい。

編集委員

渡辺欣嗣 神永昭夫 小林敏邦
代田正俊 西村良之 吉井敬吉
入江秀明 河田恵吾

“速報” 明大勢大活躍

優勝、小川、吉田。三位飛松。

世界学生柔道選手権大会

十二月十七、十八日ソ連トビリシ市で行われた世界学生柔道選手権大会で小川直也（九五kg超級）吉田秀彦（七八kg級）が優勝した。また大会前ヒザを痛め出場が懸念された飛松和雄もよく健闘し実力者がそろっているこの級で三位に入った。（参加三〇ヶ国）

ランドスケープの空間の創造に
「わび・さび」の
落着とダイナミックさを
表現する

日本公園施設協会会員



株式会社 誠和

代表取締役 高田 誠之助
常務取締役 渡辺 昌照

〒104 東京都中央区八丁堀4-10-2
八丁堀ビル Ⅱ 553-7201 池
沼石地 経典県豊後郡国府内
出張所 平塚、流山、船橋

秀島選手（世田谷学園）大漣選手（鹿
児島工業高）らの有名選手の顔も見えて
いたが全体的にはやや不作為であった。

セレクション

今春、業務中、北海道で交通事故にあ
い、重傷を負った段上雄二君（四〇年度）
が一般治療を終え、現在リハビリテー
ションを行っている。回復状況は順調。

段上雄二君、回復

食肉業界に奉仕する中島グループ

中島興業株式会社

代表取締役 中島 平人

水谷 武史

中島畜産食品株式会社

日本栄養食品株式会社

中島畜産市場仲買株式会社

弘友食品株式会社

総合本社

東京都墨田区太平1-6-8
墨田京03（625）4129（大代）



共同石油株式会社特約店

アスファルト・石油類総合販売



有限会社 男鹿興業社

代表取締役社長 国 安 均

本 社 秋田県男鹿市船川港船川字化世沢178

TEL (0185) 23-3293(代)

秋田営業所 秋田県秋田市川尻町字川口境61-242

TEL (0188) 35-3362



男鹿なまはげ給油所 男鹿市船川港船川字化世沢 178 (0185) 24-3292

鹿渡なまはげ給油所 山本郡琴丘町鹿渡字西小瀬川 69 (0185) 87-2316

千秋なまはげ給油所 秋田市千秋矢留町 2-43 (0188) 34-1736

牛島なまはげ給油所 秋田市仁井田栄町 1-31 (0188) 39-2306

中通なまはげ給油所 秋田市中通 6丁目 9-3 (0188) 32-8621

ステーキ&シーフード「パンフ」



秋田市山王 1丁目 6-7 / 淀ビル 2F (0188) 62-7800

真心サービスで社員一同
心からお待ちしております。

21世紀へ向って…
躍進する京葉ガス。



京葉ガス

本社 〒272 市川市市川南 2丁目 8-8 番 0473(25)1121 (大代)

ビル管理業

第一企業中央(株)

代表取締役社長
細川 隆夫
(38年度卒)

〒141 東京都品川区中延5-7-8
TEL 03-781-1218

小田原接骨院

院長 小田原 徳明
(35年度卒)

診療所 大阪府枚方市岡東町4-5
TEL 0720-41-2561
自宅 大阪府枚方市岡山手町3-6
TEL 0720-44-2563

株式会社 泉屋製菓總本舖
七宝道場 (館長)

代表取締役 伊藤 彰朗 (33年度卒)
営業所: 愛知県海部郡七宝町遠島十坪
TEL: 052-444-6116

娯楽の殿堂

みとやホール

水道橋・神田・鶯谷・浅草・三河島・上野

喫茶・バブ・レストラン

山の音

水道橋・鶯谷・浅草

お近くにお越の際は
是非お立ち下さい

代表取締役 中野 一郎

三進工業株式会社

取締役社長 三船 芳郎

工場製品 各種焼結機 / 各種圧力容器
建設工事 (国内及び海外)
プラント 石油・化学・製紙・製糖・製塩
環境装置 都市地域浄化、清掃工場、
汚水処理装置、排煙脱硫・
脱硝装置
鉄 構 高制型煙突、導水用鋼管、鉄
行、橋梁、水門扉、大型野橋
産業機械 製鉄機械、プレス、クレーン、
原子力機器、その他

本社工場 一川崎市川崎区小島町4番4号 〒210
電話川崎(044)266-0261(大代表)
建設機械センター 一川崎市川崎区日ノ出1丁目10番1号 〒210
電話川崎(044)266-0273(代表)



輸出入 鉄鋼製品・機械・プラント・船舶・化学品
輸入 鉄鋼原料・機械・化学原料・農水産物



KYOHO TSUSHO KAISHA, LTD.
取締役社長 松田 滋夫

本社 東京都千代田区神田須田町1-23-2
電話(255)8151
電略 KYOHOTORG TOKYO

育栄管財株式会社

育栄警備保障(株)

社長 嶋 海 誠 一



本社 新宿区百人町1-22-26
TEL (363) 6351 代表
青森出張所 三沢市栄町1-31-142
TEL 01765(3)6678
札幌出張所 札幌市豊平区美園四丁目3(三光ビル)
TEL 011(811)1899



オークジャパン株式会社

大 国 伸 夫

東京: 〒111 東京都台東区浅草6-22-13
TEL 03(875)2851

大阪: 〒540 大阪市東区常盤町1-37
TEL 06(945)0920

広島: 〒733 広島市西区大湊町13-23
TEL 0822(91)0902

パリ: パリ市8区フォーブルサントノレ通り9番地
TEL (265) 2906

給食用食品部

(株) 富士産業

代表取締役 谷 藤 義 明
(34年度卒)

〒173 東京都板橋区大谷口上町44-11
電話(03)956-9615

ジャムの専門メーカー

JAS規格認定工場・輸出品製造承認工場

株式会社スポー・ジャム

営業所 東京・大阪・札幌・仙台 工 本 三 本 (兵庫縣)
名古屋・福岡・松本 三 本 (兵庫縣)
長野県松本市大字笹賀596番地 ☎松本26-6811

新しいオフィスづくりに取り組む

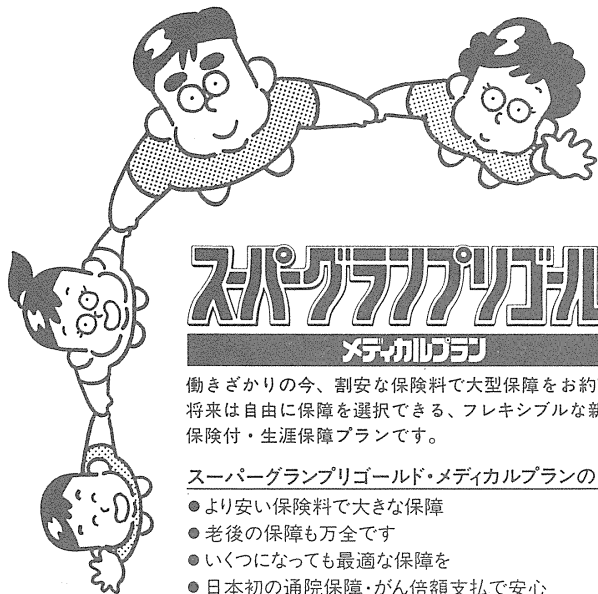
株式会社 町山事務機

代表取締役 町山 良行 (昭和37年度卒)

本社 川崎市多摩区東生田1-13-1
TEL (044)933-3311

ファックス (044)933-3618(GIII)

大きな  をより安い  で。



スパークアップリゴールド メディカルプラン

働きざかりの今、割安な保険料で大型保障をお約束し、将来は自由に保障を選択できる、フレキシブルな新医療保険付・生涯保障プランです。

スーパーグランプリゴールド・メディカルプランの特長

- より安い保険料で大きな保障
- 老後の保障も万全です
- いくつになっても最適な保障を
- 日本初の通院保障・がん倍額支払で安心

千代田生命

(S30年度卒 塩見 泰之)

渋谷接骨院

根本整骨研究会理事
大田区立志度中学校講師
渋谷正久
自宅 〒145 東京都大田区南雪が丘5-14-6 ☎03(720)0478

台東区柔道会

(31年度卒)
理事長 丸山 彰 治

本場廣東料理の殿堂

浅草観音通り 商店街 **宝来楼**

(株)唐人商行
総支配人 平田博俊 (S30年度卒)
東京都台東区浅草1-1-7 TEL (841) 4592
予約 TEL (841) 3796

■ブティック エルミン(1F)
■服地とオーダー モードサロン **さとう**(2F)
(S42卒) 佐藤 誠 三
福山久松通り(霞町1丁目2-30)
TEL (0849) 23-2689
23-0310

(株)大村肉店

大村勝利 (S38年度卒)
〒415 静岡県下田市2-4-24
TEL 05582-2-0298(代)

ガソリンスタンド

ガソリン・軽油・白灯油・各種オイル
その他カー用品

株式会社 カネマツ

代表取締役 鈴木 紀一(38年度)

有限会社 エスエー商事
代表取締役
村 木 晃

〒110 東京都台東区柳橋一丁目十五番六号
TEL 03-3862-2100

飯田興業株

社長 飯田 弘昌
(昭和39年度卒)

山口県新南陽市福川341
(駅前 大正館)
TEL (会)0834(62)-2732
(自)0834(62)-2637

タネイの製造又は販売組合、各種大会で多くの選手に愛用されています

男子組の「**元祖**」

●お求めは、お近くの製造員店！
スポーツ用品店にて 武道印
の製品を認指名下さい。

伝統と信用に輝く

TANEI BRAND
タネイの 剣道衣 柔道衣
武道印

武道用品の総合メーカー

株式会社 **タネイ**
本社・愛知県宝飯郡津島町西方
TEL 0537(6)4181(代)
豊橋営業所/☎0532(55)8581
岡崎営業所/☎0584(24)5640
豊田営業所/☎0565(34)3364
春日井営業所/☎0568(83)6262

26年度卒 種 井 育 三

企業ローン 住宅ローン

東京都知事(2) 第02526号

杉原産業株式会社

取締役社長 杉原 構

電話 371-5111 (代表)

東京都新宿区西新宿 7-13-9

躍 進



新日本プロレスリング(株)

新日本プロレスリング(株)

代表取締役社長 猪木 寛 至

副社長 坂 口 征 二

〒106 東京都港区六本木6-4-10

TEL 03-405-3111

“日本的経営の勝利は
科学的経営管理の導入にある。
スポーツのチーム経営も
同様であらねばならない”

——ピーター・ドラッカー——



《日本の人材紹介業のパイオニア・実績21年》

イムカ

社長 武原 誠 郎(昭和35年卒)

労働大臣許可番号13・コサツ・0005

TEL03-221-9211

〒102 東京都千代田区紀尾井町3-23 文藝春秋新館3F



人の情熱と知恵の力には、いつも驚かされる。
21世紀を拓くのはやっぱり人だ。
だからハイテックも人にやさしくなれるんだ。

人のパワーつてすごい。



先進技術は
人にやさしく、美しい。

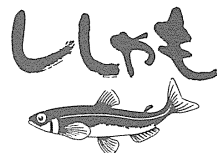
株式会社豊田自動織機製作所
(S44年度卒 渡辺 健二)

食肉業界に奉仕する中島グループ

中島興業株式会社 代表取締役 中島平人
水谷武史

中島畜産食品株式会社 総会本社
日本栄養食品株式会社 東京都墨田区太平3-6-8
中島畜産市場仲買株式会社 墨田区03(025)4129(大代)
弘友食品株式会社

清澄な北海、アイスランドで獲れた



△K.K ヤマサキ

宇和島市中沢町1丁目5番1号
電話0895 25 1616(代)

代表取締役 山崎 昌徳
(昭和23年度卒)

「明委」年一回発行

昭和六十三年十一月二十五日発行

編集人 神 田 和 夫

発行人 明治大学体育会柔道部

印刷所 明委会

東京都千代田区神田駿河台一

一 明治大学体育課内

二 九五 四四八九

三 有限会社 渡辺欣勝堂

四 東京都千代田区神田三崎町二

五 一〇三 二六二 四

六 〇三 一九六七 九

七 三二七